

Part 1 基本情報

1. チリプロフィール

- | | |
|------------|---|
| (1) 正式名称 | (和文)チリ共和国 (英文)Republic of Chile |
| (2) 政体 | 立憲共和制 |
| (3) 首都 | サンティアゴ |
| (4) 面積 | 75万6000平方km |
| (5) 人口 | 1505万人(2002年) |
| (6) 民族 | スペイン系75%、その他欧州系20%以上、先住民系5% |
| (7) 言語 | 公用語 : スペイン語 |
| (8) 宗教 | カトリック(88%) |
| (9) 略史 | 1541年スペインの植民地となる。1818年スペインから独立。1970年アジェンデ社会主義政権誕生。1973年軍事クーデターによりピノチエト政権誕生。1990年エイルウィン政権成立、民政移管。 |
| (10) 在留日本人 | 108人(2000年) |
| (11) 気候 | ルーとの国境付近の砂漠地帯は年間の降水量がゼロに近い世界でも有数の乾燥地帯である。サンティアゴ付近は地中海性気候で、最高気温が摂氏30度、最低気温が10度と、一日の気温差が大きい。以下、南下するにつれ降水量が多くなる。 |

【参考】

「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省
『最新世界各国要覧 10訂版2000』東京書籍

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要(チリ支所)

住所 : Av. Apoquindo 3650, Of. 704, Las Condes, Santiago, Chile

(最寄駅:地下鉄1号線Alcántara駅、徒歩3分)

なお、2011年1月末に私書箱は廃止している。

連絡先 : 国番号 : 56

市外局番 : 02

電話 : +56-2-208-9990

FAX : +56-2-228-8758

URL : <http://www.jica.go.jp/chile/index.html>

E-mail : ci_oso_rep@jica.go.jp

緊急連絡先電話番号

- ・日本大使館: 2-232-1807
- ・警察: 133
- ・消防: 132
- ・救急車: 131

執務時間 : 9:00~17:30(昼休み13:00~14:30)

休日 : 下記祝日と土曜日、日曜日

| | |
|-------------------|--|
| 1月 3日(月) | 年始休暇 |
| 3月 21日(月) | 春分の日 |
| 4月 22日(金) | Good Friday (聖金曜日) |
| 4月 29日(金) | 昭和の日 |
| 5月 3日(火) | 憲法記念日 |
| 5月 4日(水) | みどりの日 |
| 5月 5日(木) | こどもの日 |
| 6月 27日(月) | Saint Peter and Saint Paul's Day (聖パウロ・聖ペテロ) |
| 8月 15日(月) | Assumption Day(聖母昇天の日) |
| 9月 19日(月) | Army Day (陸軍記念日) |
| 10月 10日(月) | Race Day (民族の日) |
| 10月 31日(月) | National Day of the Evangelical and Protestant Church (プロテスタントの日) |
| 11月 1日(火) | All Saint's Day (万聖節) |
| 12月 8日(火) | Immaculate Conception Day(聖母受胎日) |
| 12月 23日(金) | 天皇誕生日 |
| 12月 29日(木)~30日(金) | 年末休日 |

(2011年)

事務所までの交通 :

【サンティアゴ国際空港から】

空港到着出口右手にあるタクシーカウンターで、事務所住所 (Av. Apoquindo 3650, Las Condes、ビルの名は、Edificio El Golf 2001) を告げ、タクシー券またはミニバス(乗合タクシー)券を購入する。地域によって多少料金が違うが、事務所のある地域(Las Condes 区)までのタクシー代は 2011 年 3 月現在 18,000 チリペソ(約 38 米ドル)、ミニバス代は 6,700 ペソ(約 14 米ドル)。

<サンティアゴ空港タクシー、乗り合いバス業者: Transvip 社>

Transvip 電話 : 02-677-3000

<http://www.transvip.cl/>

【空港以外から】

タクシーの利用を勧める。タクシーは、ホテルが手配するタクシーか、無線タクシー

を利用することが望ましい。サンティアゴ市内には流しのタクシーがたくさんいるが、安全の問題からできる限り利用しないこと。無線タクシー会社は多数あり、電話をかけて呼び出す。ナンバープレートはオレンジ色で、車体は黄色(上)と黒(下)のツートンカラー。料金は、基本料金(250チリペソ)＋単位距離料金(100チリペソ／200m前後)＋単位時間料金(100チリペソ／分前後)のメーター制。

<無線タクシー>

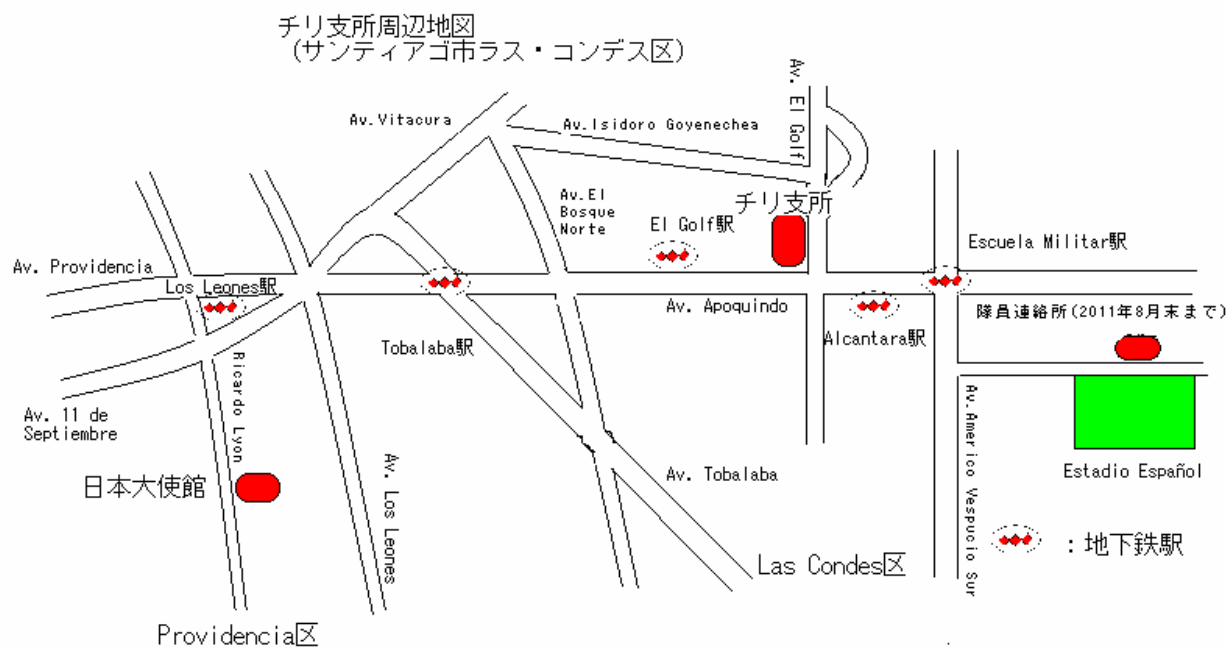
Transporte Las Condes S.A. 電話 :02-211-4470

<http://www.radiotaxilascondes.cl>

Radiotaxi Providencia 電話 :02-209-0445

<http://www.radiotaxiprovidencia.cl>

(2) JICA事務所周辺地図



(3) 日本との時差、
サマータイム

日本との時差 : 通常－13時間(3月中旬～10月上旬)

サマータイム : 10月第2日曜日0:00から3月第2日曜日0:00まではサマータイムが適用され、日本との時差は－12時間となる。

(4) 祝日、官公庁
の休日

祝日 :

1月 1日※ New Year's Day (元日)

3月下旬～4月 Good Friday (聖金曜日、移動祝日)

同上 holy Saturday(聖土曜日、移動祝日)

(春分の日の後の満月の次の日曜日の復活祭前の金曜日と土曜日)

- 5月 1日※ Labor Day (メーデー)
 5月 21日 Navy Day (イキケ海戦記念日)
 6月 29日 Saint Peter and Saint Paul's Day (聖パウロ・聖ペテロ)(6月29日が火、水、木に当たる時はその週の月曜日、金に当たる時は翌週の月曜日に移動。10月12日民族の日も同様。)
 7月 16日 Virgin of Mount Carmel Day(カルメル山の聖母)
 8月 15日 Assumption Day(聖母昇天の日)
 9月 18日※ Independence Day (独立記念日)
 9月 19日 Army Day(陸軍記念日)
 10月 12日 Race Day (民族の日、6月29日と同様平日の場合は必ず月曜日)
 10月 31日 National Day of the Evangelical and Protestant Church(プロテスタントの日)(10月31日が水曜日の場合その週の金曜日、同じく火曜日の場合前の週の金曜日に移動。)
 11月 1日 All Saint's Day (万聖節)
 12月 8日 Immaculate Conception Day(聖母受胎日)
 12月 25日※ Christmas Day (クリスマス)

(2011年3月現在。土日と重なる場合の振替休日の制度はない)

官公庁の休日 : 上記祝日と土曜日、日曜日。銀行は12月31日も祝日。

※: 上記4休日(元旦、メーデー、独立記念日、クリスマス)は、接客業、飲食店、ガソリンスタンド、指定薬局などの例外を除き、全労働者に休日を与える義務あり。

- (5) ビジネスアワー
 官庁 9:00~18:00(官公庁は金曜日のみ17:00終業、土日祝休み)
 銀行 9:00~14:00(土日祝休み)
 商店 小売店 9:00~18:00(日曜日はほとんどの店が休業)
 スーパーマーケット 9:00~22:00(年中無休、但し、元旦、メーデー、独立記念日、クリスマスの4祝日は休業)
 ショッピングセンター10:00~21:00(年中無休、但し上記4祝日は休業)
- (6) 言語
 業務 : スペイン語。英語はある程度通用する。
 ホテル、買い物、食事 : スペイン語。ホテル、高級レストランでは英語が通用するが、市場、一般商店などではあまり通用しない。
- (7) 通貨
 通貨 : チリペソ(\$)(米ドルの場合はUS\$, US\$と表記)
- (8) 通貨レート
 為替レート : 1米ドル=475チリペソ(2011年3月1日現在)
 最新の為替レートは、以下のサイトで確認のこと。
<http://www.bcentral.cl/eng/> (「チリ中央銀行」英語版ホームページ)

(9) 関係機関

【在外日本関係機関】

●日本大使館

住所 : Ricardo Lyon 520, Providencia, Santiago

電話 : 02-232-1807

Fax : 02-232-1812

URL : http://www.cl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【チリの関係官公庁】

●チリ国際協力庁 (AGCI)

住所 : Teatinos 180, piso 8, Santiago

電話 : 02-827-5700

Fax : 02-827-5792

URL : <http://www.agci.cl/>E-mail : agencia@agci.cl

(10) 有用サイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)<http://www.aeropuertোসantiago.cl/> (サンティアゴ空港情報、英語バージョンあり)

Part 2 生活情報

※「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所がある都市の情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

サンティアゴの主なホテルは次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。チリ居住者の場合、ホテルの料金に消費税19%(2003年10月1日から。それ以前は18%だった)が加算されるが、一時滞在者の場合は、ドル払いに限り、パスポートと入国カードを提示すれば免税となる。ほとんどのホテルが米ドルの現金、トラベラーズチェックでの支払い、VISA、MasterCard、Diners Club、American Expressのクレジットカードでの支払いが可能。

いずれのホテルでも長期滞在できる。長期滞在の場合、交渉すれば割引が受けられることが多い。



— 出張者用として利用されるホテル

- Hotel Plaza El Bosque Suites
- Apart Hotel Santa Magdalena
- Apart Hotel Alessandria
- Hotel Nippon

— その他の主なホテル

- Hotel Neruda (Hotel Neruda Express)
- Hotel Atton (El Bosque, Las Condes)
- Eurotel (El Bosque, Providencia)
- Holiday Inn Santiago (El Golf, Airport)

— 高級ホテル

- Ritz-Carlton Santiago
- Grand Hyatt Santiago
- Sheraton Santiago
- Intercontinental Santiago
- Radisson Plaza Santiago

1-2 住宅事情

住宅事情はよく、一戸建て、アパート、いずれも各自の好みに合わせて借りることができる。しかし、ここ数年は犯罪が急増しているため、日本人の多くは24時間管理人がいるアパートに住んでいる。治安上、生活環境上の諸点を考えれば、日本人が多く住んでいるビタクラ(Vitacura)区、ラス・コンデス(Las Condes)区が無難であるが、これらの地区でも犯罪は増加している。



ラス・コンデス区での家賃は、場所、広さ、築年数などの条件でばらつきがある。

単身用の1部屋か2部屋の家具なしアパートは500米ドル程度からあるが、安いアパートの場合、場所が不便であったり、ビルの管理がしっかりしていなかったりするケースが多い。家族連れ用の3部屋以上の家具なしで、ビルの管理もある程度しっかりしているアパートは、家賃が900米ドル以上する場合がほとんどである。

1-3 住宅の探し方

派遣先や知人の紹介、不動産会社、新聞広告で探す。また、前任者に前もって依頼しておくのもひとつの方法である。

一戸建て、アパートには家具付きと家具なしがある。家具付きの場合はソファ、ベッド、冷蔵庫のほか、調理器具、食器類、掃除用具まで一切含まれているのがふつうで、家具なしの場合でも流し台、レンジなどは設置されていることが多い。

日本語対応可能な主な不動産会社は次のとおりである。



- ・三谷トラベルサービス (Mitani Travel Service)
- ・山一旅行社 (Turismo Yamaichi)

1-4 住宅選定上の留意点

治安、生活環境、利便性、設備のほか、小・中学生を随伴する場合は、日本人学校からの距離やスクールバスの経路を念頭に置いて選定する。

特に一戸建てやアパートの低層階は、空き巣による盗難事件が多い。塀の有無、鍵の状態などを必ず確認する必要がある。

冬は相当冷え込むので、暖房設備の有無や機能を確認すること。

1-5 住宅の契約

契約は1カ月から1年まで可能であるが、1年契約が一般的で、問題がなければ自動更新される。借り手と家主で契約書を作成するが、契約内容などには一定の様式がある。

不動産会社を介した場合は、仲介手数料として、通常借り手と家主双方が家賃1カ月分の2分の1ずつを不動産会社に支払う。保証金(家賃1カ月分)は契約時に家主に支払う。これは通常最終月の公共料金の請求書が届く退去1ヵ月後に返済されるが、家具などに破損があった場合や支払漏れの公共料金がある場合は補償金にあてられる。最後の月の家賃にあてることができない。

また、契約時には、家主が火災および災害に対する保険に入っているか否かを確認する。入居の際は、家具を家具リスト(Inventario)と照合する。家具類の状態をリストに記載してもらるか、必要に応じて写真をとり、家主にサインをもらっておく。幼児を同伴する場合は、繊細なものや高価なものは入居前に引き取ってもらうとトラブルが少ない。

さらに、庭、その他機器の保守管理をいずれが負担するのか、協議の上で決定しておく。非常ベルなどの防犯設備も確認し、不備があれば家主に申し出る。

通常、家賃は当月分を5日ごろまでに前払いする。

契約は、通常2カ月前の予告をもって解消できる。任期がある程度決まっている場合は初めからそれに合わせて契約するが、赴任期間が定まっていない場合は、契約の際に「転勤の場合は2カ月前の一方的な通告をもって契約を解消できる」という条項を補記しておく必要がある。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

入居以前の公共料金は家主が支払うべきものである。それに該当する請求書が届いた時は家主に申し出ること。公共料金の領収書類は、退居の際に必要な場合があるので、整理して保管する。

サンティアゴ市内では週に2回、ゴミの回収がある。一戸建ての場合は当日の朝、指定された場所に出す。アパートの場合はダストシュートに入れるか、指定された場所に置く。

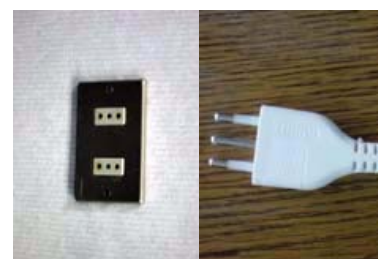
電話、電気、ガス、水道の使用開始については、不動産会社または家主に、入居時に使える状態になっているかどうかを確認する必要がある。利用休止状態であっても、該当の会社へ電話で申し込めば、2、3日で復旧される。ただし、未納金がある場合は、支払いが完了しないと復旧されないため、この点も契約以前に確認する必要がある。下水処理料金は、水道料金に計上される。

1-7 家電

(1) 電圧

電圧は220V、周波数は50Hzである。日本国内で使う100V用電気製品を使用する場合は、アダプターとトランスが必要である。アダプターとトランスは、現地で購入できるが、品質は劣る。

(2)コンセント、モジュージャックの形コンセントはC型で、2本のプラグを結ぶ直線の中央にアース用プラグをつけた電気製品をチリでは使用している。ただし、中央のアースがないプラグも使用している。電話の差し込みモジュージャックは日本と同形。



コンセント

電気製品のプラグ

(3)家電製品

日本やアメリカ、ヨーロッパの製品に加え、近年韓国のメーカーの製品が多数輸入されて種類が増え、最新の製品を除けばたいいのものは入手できる。ただし、日本のメーカーの製品であっても、生産地は日本以外のものもある。

1-8 家具保険

集合住宅の場合、建築構造物に対する火災保険はビル全体で加入し、掛け金が共益費に含まれている場合が多いが、個別に家具に対する火災保険に加入するこ

ともできる。家具の盗難、災害保険はチリでは一般に普及していない。

1-9 その他

サンティアゴ以外の地方では、主要都市でも集合住宅の物件数自体が少ないことが多い。そのため、一戸建ての住宅にせざるをえない場合は、塀や窓、玄関の鉄格子、警備機器設置の有無など、安全対策上の問題がないかどうかをチェックする必要がある。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

チリには四季がある。サンティアゴ以北の内陸部では夏(12~2月)には摂氏30度を超す暑さとなる。また、海岸地方では夜間と日中の気温差が少ないが、サンティアゴを含む内陸部では、気温差が15度から20度に及ぶことが多い。冬は年に2~3日は氷点下になり、特に朝の冷え込みは厳しい。したがってチリでは、夏物から厚手の冬物衣料まで必要である。

サンティアゴ以南は雨が多く、冬季は山間部では雪も降る。寒さも厳しいので冬物の準備が必要である。いずれの季節も昼夜の温度差が大きく、夏でも夜間は上着が必要な時がある。

現地の既製服は種類も多く、比較的安く手に入る。日本人の体形に合ったものもあるが、一般に袖は長めである。セーター、コート類の種類も豊富にある。

革製品はアルゼンチン、ウルグアイなどからの輸入品も多く、デザイン、質ともによい。中国、台湾、韓国製の安価な合成繊維製品も多い。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

サンティアゴまたはその以南に赴任する場合は、コート類(薄手、厚手)を持参したほうがよい。また、南部や山岳地帯への旅行にはアノラックなどが必要である。下着類や水着は、自分の体形に合ったものを持参する必要がある。

既製の冠婚葬祭用礼服も少ないので、持参したほうがよい。ただし、チリでは黒や白の礼服が使用されることは、まれである。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

ワイシャツ、Tシャツ、ブラウス、セーター、背広、ツーピースなどは、種類が豊富で、手ごろな価格で入手できる。靴類もデザインが豊富で良質なものがある。男性用靴下、ふだん着、ハンカチなども調達できる。

(4) その他の留意点

チリでは、一般に地味な色の衣類を着用することが多く、スーツも紺や濃い茶色以外の明るい色はあまり販売されておらず、使用する人も少ない。

2-2 礼装

(1) パーティー

通常、男性はダークな色の三つ揃い、女性はカクテルドレスかカクテル調ワンピースを着用する。フォーマルなパーティーでは、男性はブラックタイ、ホワイトタイあるいはモーニングを指定されることがまれにある。この場合、女性はロングドレスを着用する。

(2) 式典

日本の祝祭日、チリの祝祭日、配属機関の行事などでは、日本の冠婚葬祭と同様でよい。

ダークスーツでも間に合う。

(3) 冠婚葬祭

ダークスーツでも間に合う。

(4) その他の留意点

既製の冠婚葬祭用礼服は少ないので、日本から持参したほうがよい。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

クリーニング店は多く、ドライクリーニングが可能である。店によっては重量で料金を設定するところもあり、安価である。

また、アイロンなども購入でき、電気洗濯機は、家具付き住宅であれば備えられている。

(2) 仕立て、修繕

紳士服、婦人服ともに仕立てが可能であり、かなり安価である。立体裁断をしているため、紳士服も美しく仕上がる。ただし、使用する糸がもろいため、袖口、ボタンの糸などがほころびることもある。特に裏地の選定に気をつけるとよい。

生地はイギリス製、イタリア製など、豊富である。店によって仕立て技術に差があるので、知人などから情報収集するとよい。

(3) 保管

ウールや絹の衣類はビニール袋やトランクなどに保管し、防虫剤(現地で入手可能)を入れておく必要がある。

2-4 美容院、理髪店

美容院、理髪店はサンティアゴ市内各所にあり、整髪だけでなく、マニキュア、ワックス脱毛なども行うところが多い。一般に、散髪は短めにする傾向がある。技術レベルや言葉の問題を考慮して、行きつけを在留日本人に教えてもらうとよいが、現在のところ日本人がよく利用する特定の店はない。

料金は、店構え、技術者数、使用化粧品などによって千差万別である。

女性用化粧品はチリ製、フランス製、アメリカ製などが豊富であるが、チリ製のパ

ウダー類はきめが粗いことがある。ファンデーション、口紅は良質なものもある。外国製品としては、「マックス ファクター」「ランコム」「エリザベス アーデン」「ヘレナルビンスタイン」「クリニーク」などがある。香水は「シャネル」「ディオール」「ゲラン」などが揃っており、日本で購入するより若干割安である。また、アメリカ、フランスの工場で製造された「資生堂」の商品もある。いずれも日本人を対象には製造されていないので、香料や刺激の強いものがある。特に肌の敏感な人は注意すること。愛用しているものがあれば、日本から持参したほうがよい。

男性のヘアリキッドなどはないので、必要であれば持参すること。

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

ホテルのメイド、ポーターなどのサービスに対しては、チップを払う習慣がある。

(2) 各種サービスに対するチップ

メイドには、短期滞在であれば、チェックアウトする日に1米ドルから5米ドル程度、ポーターにはサービスごとに1米ドルから5米ドル程度。高級ホテルでは5米ドルくらい払い、中級ホテルでは2米ドル程度でよい。

レストランでは食事代の5～10%を払う。食事の料金が低ければ10%が目安であるが、高くなれば5%程度でよい。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

一般にレストランの開店時間は13:00～15:00前後、19:00～23:30前後。喫茶店、軽食のレストランは中休みがなく、継続して開店しているところが多い。コーヒー専門店、チリに以前からある立ち飲みのほか、最近ではアメリカ系のチェーン店がある。

レストランの種類としては、肉料理、洋食一般、中国料理、フランス料理、イタリア料理、海産物料理など、豊富にある。和食レストランは、1990年代以降増加している。

昼食時のセルフサービスのレストランでは、食事前に勘定を済ませ、原則的にチップは必要ないが、それ以外のレストランでは、食事後に勘定をウエイター等に依頼し、7%前後のチップを置くのが一般的。

(2) 飲食店

チリの新聞社のホームページから、レストラン情報を入手できる。

具体的には、「El Mercurio」紙の<http://www.restaurantes.emol.com>

主なレストランや喫茶店は以下のとおりである（詳細はPart3イエローページを参照）。

<日本料理>

- Yellow Page**
- ・Shoo Gun
 - ・Japón(ハポン)
 - ・Sushihana
 - ・Kintaro
 - ・Izakaya Yoko



日本料理店Shoo Gun

<中国料理>

- ・Hong Yun
- <喫茶店>
- ・Starbucks Coffee



中国料理店Hong Yun

<その他>

- ・Los Adobes de Agromedo
- ・Bali Hai

4-2 食料

(1) 一般事情

肉、野菜、乳製品、果物などが安価で豊富にあり、食生活で困ることはない。特に果物は甘く非常に美味である。

また、チリは世界でも有数の水産国で、ウニ、カキ、ホタテ、ヒラメ、サケ、マス、スズキなどが豊富である。ただし、水揚げから店頭まで並ぶまでの保存状況に不安があるので、鮮度には注意を要する。

アワビ(ロコ貝)は資源保護のために禁漁期間が設けられている。その期間には勧められても買わないこと。

(2) 主な食品の出回り状況

主要な食料はスーパーマーケットで入手できる。野菜、果物などの鮮度のよいものは専門店に行くと見つかる。

チリ産の米はインディカ米の細長タイプで、スーパーマーケットでは1kg単位で販売されている。特級品、1等級、2等級の3種類がある。カリフォルニア米やもち米は後述する中国および韓国食料品店で入手できる。

ワインは現地の特産品のひとつであり、種類が豊富で安価である。ワインを蒸留したピスコ酒(アルコール分約30~45度)もよく飲まれている。ウイスキーやブランデーなどは輸入品がひとつとおり揃っているが、安価ではない。

水道水はもとのミネラル分や消毒剤の塩素化合物が比較的多く含まれているため、飲用には湯ざまし、市販のミネラルウォーターを用いるのが無難である。ミネラルウォーターには炭酸入り(con gas)と炭酸なし(sin gas)の2種類がある。

(3) 食料の入手

青空市場(Feria)が各居住地を巡回するほか、スーパーマーケットが多数ある。

商店は通常、月曜から金曜の10:00~18:00、土曜は14:00ごろまで開店してお

り、日曜、祝日は休みである。スーパーマーケットは通常、元旦、メーデー、独立記念日、クリスマスなどの祝日以外は土日祝日も営業し、8:30ごろから21:00ごろまで開店している。

主なスーパーマーケットや商店は次のとおり。

<スーパーマーケット>

Yellow Page ・Jumbo

・Unimarc

・Lider

常設市場としては中央市場(Mercado Central)があり、魚、肉、野菜などを扱っている。なお、葉野菜はスーパーマーケットなどの信用できる店で買うことを勧める。スーパーマーケットでは水耕栽培や生産地のはっきりしている葉野菜を販売しているが、市場の場合、生産地を特定することは困難である。

主な市場は以下のとおりである。

<市場>

Yellow Page ・Mercado Central(中央市場)

・Han Kuk

・Assi-Market

・Agua Viva

・Shirakiku

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

電気製品はゼネラル・エレクトリック社などのアメリカメーカーの製品、フィリップス社、シーメンス社などのヨーロッパメーカーの製品、東芝(株)、松下電器産業(株)などの日本メーカーの製品などが出回っており、電気炊飯器(輸入品)も調達できる。レンジ、温水器などのガス器具も各種購入可能である(家具付き住宅、アパートの場合は必要ない)。

一般的な調理器具、鍋類は、各種市販されている。中国、日本からの輸入品もあるが、種類は少ない。

冷蔵庫、炊飯器のほか、調理器具、食器類は、既述の4-2「食料」(3)「食料の入手」で紹介したスーパーマーケットで購入できるほか、5-2「家具」で挙げている大型百貨店でも購入できる。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

巻きす、すり鉢、すりこぎ、湯飲みなどの和食器、包丁類(肉切り、パン切り包丁など)はあるが、切れ味はいまひとつ、砥石(工業用砥石で目が粗い)、炊飯器(220V、50Hz、中国製や韓国製は入手可)は調達できるが、選択の幅が狭いので、特定のものを使う必要がある場合は、日本から持参したほうがよい。

5. 生活用品の購入 5-1 家電製品



バラエティーに富んでいるというほどではないが、たいいていものは入手できる。家電商品を販売している主な家電製品のチェーン店は、次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。

Yellow Page

- ・Abcdin
- ・Ripley

5-2 家具

Yellow Page

Almacenes Paris、Falabellaなどの大型百貨店で、たいいてい家具は購入可能である。

5-3 日用品、雑貨

Yellow Page

日用品と雑貨一般は、前述4-2「食料」の(3)「食料の入手」で挙げたスーパーマーケットで入手できる。ただし、文房具類は、文房具専門店Lapiz Lopezが比較的品揃えが豊富である。

5-4 工具、素材

Yellow Page

工具や建築資材などの素材を販売している主な店舗は、次のとおりである。

- ・Easy
- ・HomeCenter Sodimac

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

関係者の中でチリの銀行に口座を開いている人は少ない。

チリでは、銀行の営業時間は9:00~14:00に統一されている。

赴任前に日本で開設したユニオンバンクの小切手の取扱い業者は、現在チリでは両替業者AFEXのみとなっている。同業者の支店でユニオンバンクの小切手の両替をするには、事前に登録手続きを行う必要がある。その上で、ユニオンバンクの小切手を米ドル現金に換金する場合、額面の数%の手数料が取られる。また、チリペソに換金する場合でも、店頭表示レートより数ペソ低いレートが適用される。

(2) 口座の開設と閉鎖

銀行口座の種類には当座預金(小切手使用)、定期預金、簡易預金(キャッシュカードでの預け入れ、引き出しのみ)などがあるが、チリでは当座預金が一般的で、各種支払い(商店での支払いも含む)に小切手を使用されている。しかし、日本から派遣されている関係者が当座預金を開くことは困難となっている。日本人などの外国人が当座預金口座を開くには、チリ内務省移民局から観光ビザ以外の滞在査証を受けて身分証明書を取得し、サラリーマンの場合は給与明細書、経営者などの場合

Yellow Page

は資産や収入を証明する収入証明書とともに銀行に提出する必要がある。この際に銀行は申請書類を審査し、要件を満たさないと判断する場合、口座開設を認めない。また、法人の場合は、定款等の法人設立に関する書類の提出が求められる。

口座閉鎖の手続きをする場合は、閉鎖申請書を銀行に提出しても、未引き落とし切手が回収されるまでは口座閉鎖が保留される。したがって、時間がない場合は、事前に未引き落としの小切手が発生しないように注意する。

(3) 小切手

チリでは、大きな金額の取引から、小売店での支払いまで、一般に小切手の使用が普及している。

小切手の作成方法は、最初に、算用数字で金額、振り出しの都市名、日付、受取人、スペイン語のアルファベット表記で金額を記入する。次に、第三者受け取りの可否(第三者受け取り不可にする場合は「o portador」に取り消し線を入れる)、裏書き許容の可否(裏書き不可にする場合は「la orden de」に取り消し線を入れる)、口座振り込みのみの取引か現金受け取り許容か(口座振り込みのみにする場合は、小切手左側に縦に二重線を入れる)にチェックを入れて終了。現金で受け取る場合は、小切手裏の金種指定明細表に枚数を記入する。

銀行で小切手を現金に変えて受け取るには、オリジナルの身分証明書を提示する必要がある。窓口で小切手の表に受取人のサインを入れて、裏に受取人の身分証明書番号を記入し、身分証明書とともに提出する。窓口の銀行員は、小切手に署名されたサインと身分証明書番号を確認したのち、身分証明書を返却し、現金を渡す。口座振り込みの場合は、振り込み先の銀行の支店窓口で、振り込み先口座番号を裏書きした小切手とともに振り込み用紙を提出する。

現地通貨ペソ小切手の有効期間は、振り出しの同一都市(misma plaza)での手続きで60日、異なった都市(otra plaza)での手続きで90日である。ただし、サイン権者が裏書きして署名することで、さらに60日延長することもできる。米ドル小切手の有効期間は1年間。

(4) 換金方法

米ドルの現金、トラベラーズチェック、円などの外国通貨などをチリの通貨ペソに換える場合は、「Casa de cambio」と表示がある両替商で行う。その日の換金レートは店頭に表示されている。銀行口座を持っている場合は、ドル現金、トラベラーズチェック、円などの外国通貨を口座に振り込むこともできるが、トラベラーズチェックは、発行銀行と提携している銀行のみ可。

また、円からペソへ換金する場合は、両替商ではレートが悪いので避けたほうがよい。なお、唯一の日系銀行である三菱東京UFJ銀行サンティアゴ支店では、日本の三菱東京UFJ銀行発行のトラベラーズチェックは取り扱っていないので注意を要する。

サンティアゴの中心街には両替商が軒を並べている。ただし、なかには高いレートで客を呼び込んで詐欺まがいの行為をする人もいるので、信用ある両替商で換金

すること。両替商は土曜の午後、日曜、祝日は営業しないが、ホテルでは日曜、祝日でも換金できる。しかし、レートは両替商より劣る。また、新市街のショッピングセンターでは、週末でも営業している両替商がある。

6-2 クレジットカード

小切手が普及しているチリでも、最近では、小売店ではクレジットカードを利用する人が増えている。VISA、MasterCard、Diners Club、American Expressなどのカードは、一部小規模の商店やレストランを除き、あらゆるところで使用できる。

キャッシュディスプレイがサンティアゴ市内のいたるところに設置されており、日本で発行された国際クレジットカードであれば、ペソ現金を引き出すことができる。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

チリでは、遠距離には航空機や長距離バス、近距離ではバスやタクシーの利用が多い。鉄道は主として物資の輸送に用いられている。

<航空>

チリには、サンティアゴ国際空港（スペイン語名 Aeropuerto Arturo Merino Benítez、URL : <http://www.aeropuertোসantiago.cl/>）のほか、大型機用空港が10カ所、小型機（セスナ機）用空港が約120カ所ある。

国内主要幹線はLan Chile（URL : <http://www.lan.com>）、Sky（URL : <http://www.skyairline.cl>）、PAL（URL : <http://www.palair.cl/>）の3社が運航しているほか、小型機用空港間では、地元の航空クラブが、依頼があればセスナ機の有視界飛行を行っている。国際便は、中南米諸国の航空会社のほか、アメリカ、ヨーロッパからも航空会社が乗り入れている。

大型機用空港が近くにない地域での緊急事態には、セスナ機の利用が考えられるが、操縦士を含めて最大乗員4人の有視界飛行のため、夜間と悪天候時には使えないという制約がある。

<長距離バス>

長距離バスは、北部のペルーとの国境から中南部のプエルトモンまで約3000kmのパンアメリカンハイウェイを運行している。夜行寝台定期便は出発時間が比較的正確で、車内にトイレが設備され、食事、飲み物のサービスもある。

主要国内路線のほか、サンティアゴ～リマ、サンティアゴ～メンドサ（アルゼンチン）～ブエノス・アイレス間の国際線も運行されている。

<鉄道>

鉄道は、国内路線が北部イキケから中南部チツジャンまでの約2400kmに敷設されているほか、北部のアリカおよびアントファガスタとボリビアのラ・パス、アントファ

ガスタとアルゼンチンのサルタを結ぶ国際線がある。

遠距離都市を結ぶ急行列車、寝台列車もあるが、車両、路線の整備が十分でなく、遅延することが多い。サンティアゴから南方へは旅客、貨物ともによく利用されているが、サンティアゴから北部へは貨物のみである。

<地下鉄>

サンティアゴ市内で6:30~22:30ごろまで運行している。東西に走る1号線、南北に走る2号線が従来から運行しているが、これに加えて、4号線、5号線が運行している。

朝夕の通勤時間は相当のラッシュになるが、振動は少なく快適である。時刻表はない。注意事項としては、特にサンティアゴ中心部付近の線区ではスリが多い。

<市内路線バス>

2007年2月から地下鉄と市内路線バスを組合せたTransantiagoと呼ばれる交通システムが開始している。利用時は、地下鉄窓口または「bip」の看板がある店舗で専用のプリペイドカードを購入する必要がある。地下鉄は1回利用券の購入も出来るが、市内路線バスは、専用プリペイドカードでしか乗車できない。市内路線バスは、アルファベット1文字と数字2文字による運行路線表示がある各ブロック内短距離路線バスと、数字3桁による運行路線表示の、複数のブロックを走行する幹線バスとに分かれている。

通常、この路線バスは前から乗り、後ろから降りる。路線網は非常に細かく、その分複雑である。フロントガラスに取り付けられている行き先表示は見づらく、次の停車地を知らせるアナウンスもないため、慣れるまでに多少の時間を要する。ここでもやはり、サンティアゴ中心部付近の線区ではスリが多いので注意すること。

<タクシーなど>

サンティアゴ市内には、タクシーと指定路線を走るコレクティーボ(乗り合いタクシー)がある。タクシーは、日曜、祝日と21:00以降は50%割増料金になる。料金はメーター制で、初乗り料金の他に、時間と走行距離の料金が加算される。

ハイヤーは、空港ターミナル、ホテル、観光会社に属するものがある。外国人に法外な料金を請求することがあるので、乗車前に確認すること。

サンティアゴ市内ではラジオ(無線)タクシーが普及しており、電話をすると30分前後で来てくれる。料金は、流しのタクシーと同じでメーター制であるが、ラジオタクシー会社が管理しているので安心できる。

(2) 空港から市内への移動

サンティアゴ国際空港には、到着ターミナルにサンティアゴ市内までのシャトルバスとオフィシャルタクシー、乗り合いタクシー(人数が少ない場合は乗用車で、多い場合はバンタイプの車両が出る)のカウンターがある。どれも所要時間は市内まで約30分である。ただし、朝夕の通勤時間帯は渋滞のため、多少遅れる。

オフィシャルタクシーの場合、サンティアゴ市中心部(通称セントロcentro)までの料金は、約30米ドル前後である。シャトルバスはサンティアゴ市中心部まで3~4米

ドル、乗り合いタクシーは約12米ドルである。

(3) 自家用車を利用する場合

道路は比較的整備されている。車は左ハンドル、右側通行である。

一方通行、右・左折禁止のところが多く、地図には記載されていないので慣れるまで注意を要する。また、ウインカーを出さずに進路を変更する、夜間の信号無視が多い、バスやタクシーの運転がきわめて乱暴であるなど、交通マナーは日本とは大きく異なる。

自動車保険には加入しておいたほうがよい。

(4) レンタカーなどを利用する場合



Hertz Rent A Car(詳細はPart3イエローページを参照)など、サンティアゴで営業しているレンタカー会社は多い。料金は基本料金、走行料金、保険料および付加価値税からなり、車種によって異なってくる。ガソリン代は自己負担となる。

利用に際しては、免許証、身分証明書が必要であり、特に初めて利用する場合は、代金の前払いや保証金を要求されることがある。会社契約の場合は割引料金になるレンタカー会社もある。

(5) 地図

一枚紙のサンティアゴ市全図、電話会社(Telefónica 社)が発行する冊子状の道路地図が書店、新聞スタンドなどで販売されている。記載が細かくて見づらいので、必要部分を拡大して車に常備するとよい。

鉄道路線図、長距離バス路線図は市販されていない。



なお、市販されていない詳細地図は、Instituto Geográfico Militar(IGM :軍事地理院)で購入する必要がある。最近では、インターネットで見ることが出来るGoogleマップの方が入手しやすく、市販のものより見やすい。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

速やかに最寄りの警察(電話 : 133)に連絡して事故調書を作成してもらおう。また、保険会社へも連絡する。救急車の呼び出しが必要な時は、警察への通報電話で依頼するか、緊急番号131に連絡する。

物損事故で車両が動かなくなった時、任意保険でカバーしていれば保険会社に手配してもらおうが、保険をかけていない場合は、修理会社またはレッカー車両会社へ依頼する。人身事故の場合は、いったん警察に車を証拠品として押収され、あとでレッカー車両代と駐車保管代が請求される。

事故現場にはやじ馬が集まる。そして、相手側から責任のないことを強硬に主張されることが多い。こういう場合、外国人は言葉の問題からくる不利は免れられない、ということを心にとめておく必要がある。

また、バス、トラック、タクシーの運転手の場合は共同で弁護士を抱えているケースが多く、トラブルが生じた時は長期的な裁判に持ち込まれることがよくあるので、

信頼のおける弁護士や現地の事情に詳しい知人に相談し、示談にするのが賢明である。

(2) 救急病院



救急病院専門ではないが、Clinica Alemana、Clinica Los Condes、Clinica Santa Mariaの救急部門がよく利用される。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

車両本体の被害は比較的少ないが、路上駐車中に鍵穴を壊されたり、窓ガラスを割られたりして部品や車内の物品を盗まれることが多い。できるだけ警備員がいる駐車場を利用し、夜間はトランク内にもものを置かないようにすること。盗難防止警報装置が出回っているので、修理工場などで装着してもらうと安心である。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

チリでは人も車も右側通行である。サンティアゴ市内では一方通行が多いため、標識に注意しないと事故を起こしやすい。また、朝は都心方向への一方通行、昼は双方向、夕刻は郊外へ向けての一方通行と、時間帯によって通行方向が変わる道路があるので注意すること。

最近では、飲酒運転の取り締まりが強化されている。血中に含まれるアルコール濃度が血液1リットルにつき0.8g以上の場合は、刑事裁判所扱いとして書類送検されるので注意が必要である。なお、0.8g未満の場合は、地方警察裁判所扱いとなり、罰金や免許停止などの処分を受ける。事故の際に飲酒が確認されると、保険対象外となり、刑事罰の対象となるので要注意。

また、スピード違反の取り締まりも厳格になってきている。特に、週末サンティアゴから近郊に向かう主要街道で、スピードガンを使用した取り締まりが行われることが多い。

駐車違反車両はレッカー車で移動されるが、移動先は管轄の警察に問い合わせなければならない。

(2) 罰金、罰則

軽度の違反を犯した時は切符が切られ、運転免許証が一時的に取り上げられる。指定された区ごとの地方警察裁判所に出頭し、罰金のみ、もしくは免許一時停止などの処分が決定される。

地方ではかなり厳格に取り締まりが実施されており、気づかぬうちに信号無視、駐車違反などの罰金納付書が送られてくることがある。罰金は期限までに納付しないと免許の取り消しや使用停止が執行されることもある。罰金は違反の程度によって3段階に分かれており、免許一時停止の期間も違反の程度によって決まる。

7-4 車の修理

(1) 部品

自動車輸入代理店は多数ある。部品のための輸入会社も多く、部品の調達は容易である。日本車の部品も割高ではあるが、簡単に入手できる。

(2) 修理工場

日本車メーカーでは各社とも指定の特約修理工場を持っており、定期的に工員の技術研修を行っている。これらの工場であれば技術に問題はない。

日本人がよく利用する修理工場は次のとおり。



- ・Automotora Mitsui Ltda. (Toyota Chile S.A.の系列会社)
- ・Nissan Marubeni Ltda.

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

サンティアゴ市内では電話回線が整備され、国際電話もダイヤル直通でかけることができる。また、携帯電話(セルラー電話)も一般に普及している。

着信払いのフリーダイヤル(800番サービス)、情報提供(700番サービス)などのネットワークサービスも徐々に普及し始めている。

料金の支払いが遅れると、即座に電話を止められることがある。支払い期限は通常請求書発行日から15日以内であり、長期旅行の際には注意が必要である。

(2) 国内電話

主要都市間はダイヤル直通で通話ができる。

チリの国内長距離市外通話サービスは、複数の長距離通信会社(キャリア)によって提供されており(マルチキャリア・システム)、各社競合で各種割引料金が設定されている。国内長距離通話は以下のようにダイヤルすればよい。キャリアは利用者が選択する。

「1(長距離通話コード)→キャリア・コード→市外局番→市内局番→加入者番号」

主な会社のキャリア・コード(長距離通信会社番号)は、ENTELが23、Telefonicaが88などである。

あらかじめ特定の長距離通信会社と契約を結び、キャリア・コードを回さなくても自動的に契約会社の回線を利用できる方法(事前契約方式)もある。このほうが割引率は高い。

公衆電話は、空港などに設置してあるが、携帯電話の普及で最近では設置箇所が少なくなっている。また、コインを入れても通じない不良電話が多い。

(3) 国際電話

主要国間はダイヤル直通で通話ができ、通信状態はかなりよいといえる。国際通話も国内長距離通話と同様、マルチキャリア・システムが導入されており、各種割引サービスを利用することができる。国際通話は次のようにダイヤルする。

「1→キャリア・コード→0(国際通話識別番号)→国番号→市外局番→市内局番→加入者番号」

たとえば、Telefonica社を利用して日本(81)の東京(03)のJICA本部(代表電話:03-5226-6660)に電話するには、1-88-0-81-3-5226-6660となる。国内長距離電話と同様、事前契約方式もあり、その場合は00-81-3-5226-6660となり、2桁ほど少なくなる。この際、最初が00であることに注意する。

主な長距離通信会社は次のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。

 Yellow Page ・ Movistar

・ENTEL

(4) 携帯電話

主要な長距離通信会社が携帯電話サービスの業務も行っており、携帯電話の機種も豊富に出回っている。日本人の長期滞在者の加入手続きには、外務省の発行する身分証明書、その他の外国人とチリ人は市民登録局発行の身分証明書が必要である。そのため、観光ビザのみの一時滞在者は加入できない。

日本の携帯電話機は電波形式が違うため、使用不可。使用されている機種は、Nokia、Sony Ericsson、Motorola、Samsung製などで、最新式の機種も徐々に入り始めている。

携帯電話サービスを行っている主な長距離通信会社は以下のとおりである。

・Movistar

・ENTEL PCS

・Claro

8-2 電信

(1) ファクシミリ

通常の電話回線を使って、国内電話と国際電話と同様にファクシミリ機で送受信ができる。

事務所やホテルのファクシミリを使えない場合は、市内各所にある電話会社Telefónica社の通話センターから国内外へ電話をかけられ、ファクシミリの送付もできる。

(2) テレックス

現在、取り扱っている会社は確認できない。


(3) 電報

現在、取り扱っている会社は確認できない。

(4) インターネット

サンティアゴを中心にかなり普及している。民営化された電話会社をはじめ、20以上のプロバイダーがあり、料金はプランによって異なるが、月額20米ドル程度からある。プランの内容は、時間制限の有無、送受信形式の違い、送受信速度などによって分けられている。

主なプロバイダーは次のとおり。

-  Yellow Page
- ・Entel Internet
- ・Movistar
- ・VTR

8-3 郵便

(1) 一般事情

チリの郵便事情は比較的良好、手紙、はがき類はおおむね順調に届く。特に、各郵便局にある私書箱あてのものは早く届く。また、小包の場合は、通常(船便)料金とエクスプレス便(航空便)料金に分けられている。料金は予告なく頻りに変更されるので、窓口で確認する。

Yellow Page

料金を支払うと値段の印刷された紙を渡され、切手のように貼る。切手、特に記念切手などがほしい時は、セントロのプラサ・デ・アルマスに面したチリ国営郵便会社のCorreos Chile(中央郵便局、詳細はPart3イエローページを参照)に行けば、奥のフィラテリア(Filatelía)というコーナーに各種切手が取り揃えてある。小局にはないことが多い。

(2) 課税

郵便小包で内容記載のないもの、重量1kg以上のものなどは、郵便局税関に止められて内容検査の上、課税されることもある。この場合、事前に通知書が届く。

通知書発行後は、指定日までに引き取らなければならず、期間を過ぎると送り主に返送されてしまう。

(3) 国際宅配サービス

チリ国営郵便会社の他に、民間企業による国内および国際宅配サービスも多く利用されている。重要書類などの送付に利用すると便利である。

以下は、国際的ネットワークを有するクーリエ・サービス会社である。

-  Yellow Page
- ・OCSサンティアゴ代理店
- ・Federal Express
- ・TNT
- ・UPS
- ・DHL
- ・Chilexpress

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の仕方

HP社やApple社などの機種が豊富に出回っており、プリンターなどの周辺機器も多数売られている。日本語ソフトはないので持参する必要がある。

日本から持ち込んだパソコン、プリンターなどの修理は部品取り寄せに時間がか

かることが多い。

(2) 使用の際の注意

チリでは停電の頻度は低く、電圧もほぼ安定しているので、スタビライザーはほとんど必要ない。ただし、予告なしに停電することが年に2、3回はあるので、購入できる予算があれば揃えるに越したことはない。

ソフト会社から購入するソフトは正規のもので、海賊版は道端で販売されているケースが多い。チリのインターネット・プロバイダーでは、ウイルス対策サービスはまだ開始していないので、ウイルスワクチンソフトが入ったパソコンを購入する必要がある。また、アップデートを定期的にするように設定する必要がある。

(3) 修理

修理を行う業者は最近極端に少なくなっているため、まず修理業者を見つけるのに時間を要する。その次に修理を依頼する場合、まず修理の診断に日数を要する。修理内容の診断が終わったあとに、修理業者は顧客に対し①診断料と②修理を行った場合の経費を提示する。このときに顧客は修理を希望するか否かを業者に回答することになるが、修理を希望しない場合でも顧客は診断料を支払う必要がある。ノートブックパソコンの主要電子回路基盤であるマザーボードの交換が必要な場合、本体価格より高額になる場合もある。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

チリの公的機関の勤務時間は通常9:00～18:00が一般的で、金曜日は17:00に終了する機関が多い。昼休みは公務員の場合、13:00～15:00にとるのが一般的である。ただし、技術職の公務員の場合、業務の都合上、昼休みをとる時刻は本人任せという機関もある。

残業の習慣はあまりない。職員の数が多い機関には、食堂が備わっている。

(2) 有給休暇

有給休暇は、最低で年間15日、勤務年数10年経過後、3年ごとに1日の有給休暇が追加される。通常は2月に連続してとるケースが多い。このため、2月前後のチリの機能は、官民ともに低下する。

(3) 執務室

ある程度の役職になると、個室を与えられる。個室での執務の割合は日本と比べてはるかに多い。

(4) 通勤事情

バス、地下鉄、マイカーを利用するケースがほとんどである。所要時間は1時間以内が一般的である。朝は7:30～9:00、夕方は18:30～20:00ぐらいに通勤・通学の渋滞が発生する。

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

1994年3月に完成したサンティアゴ国際空港の新国際ターミナルビルは、3階建ての近代的な建物である。到着した飛行機は乗降ブリッジに接続され、乗客はターミナルの2階に出る。係員の指示に従って廊下を進み、エスカレーターで1階に降りると正面がイミグレーションである。

入国審査が終わって左に進むと、荷物引き取りラウンジがある。荷物を受け取ったあと、対面の税関検査所を通り、両側にある自動ドアを抜けると到着ロビー(出迎えポイント)に出る。

空港ビルの外に出て、正面の車道を横断すると大駐車場になっており、送迎の車はここに止められる。

(2) 入国手続き書類

機内で入国カードと税関・検疫申告宣誓書が渡される。

(3) 入国審査

入国審査では質問をされることもある。通常、係官はスペイン語で話す。入国カードの写しとなる2枚目の用紙は、旅券と共に保管して紛失しないようにする必要がある。短期滞在者の場合は、出国時にこの用紙を出国審査で提出する。長期滞在者の場合は、滞在ビザ申請手続きの際に提出する必要がある。

(4) 税関検査

税関検査所では、まず検疫係員に税関・検疫申告宣誓書を提出する。この宣誓書には、正確に記載する必要がある。宣誓書に動植物製品・食品の持ち込みなしと記載して、検査で見つかった場合、最低でUS\$140ドル相当額の罰金が科せられることがある、虚偽の記載がないよう注意する。動植物製品に当たるものがある場合、宣誓書に持ち込みありと記載し、検査時に正確に申告する。

次に荷物はX線透視カメラの機械に通さなければならない。また、係官の判断により開梱して検査を受ける場合もある。特に箱やジュラルミンのスーツケースなどは、必ず検査を受けるといってよい。

なま物、種子類および果実(干しシイタケ、梅干しなども含む)は、検疫上、手荷物では持ち込めない。持込の必要がある場合、日本の動物検疫所、または植物検疫所で検疫証明書を取り付け、必要な手続きを踏む必要がある。

(5) 空港内での留意点

まれに置き引きなどがあるため、手荷物は手元から離さないこと。日本人報道関係者が、搭乗手続き前に荷物からいったん離れたすきに、報道取材用機材一式すべてを持ち去られたこともある。

(6) 出迎え

該当情報なし。

(7) 空港からの主な交通手段

オフィシャルタクシーを利用すると、サンティアゴ中心部までは約30米ドルかかる。空港出口付近にあるカウンターで行き先を言ってチケットを購入する。

シャトルバスはサンティアゴ市中心部まで3～4米ドル、乗り合いタクシーは約12米ドルである。

(8) その他の留意点

飛行機の経由地での荷物積み替えにより、預けたものが人より遅れて到着することがある。当座の着替えや洗面用具、仕事上すぐに必要なものは、手荷物にしたほうが安心である。

両替所は、ややレートが劣るが、空港内にもある。ホテルでは、やはりレートが劣るが、日曜、祝日でも換金できる。また、新市街のショッピングセンターは、週末でも営業しているところがある。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

3階の航空会社カウンターでチェックインを済ませ、出国審査所で審査を受け、出国する。空港ビル内には土産物店がいくつかあるが、市内の店より割高である。

(2) リコンファーム

出発72時間前に行う必要がある。

(3) チェックイン

国際線は2時間前、国内線は1時間前に行う。アメリカ経由の場合、同国のテロ対策により、3時間前にチェックインするように航空会社から指示された時期もあった。

(4) 空港利用税

空港利用税は30米ドルであるが、通常航空券に含まれている。

(5) 出国手続き上の留意点

滞在査証が数次であれば、再入国査証は必要ない。また、取得している査証の期間内であれば、再入国査証の手続きの必要もない。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

日本人や外国人に共通する事項として挙げられるのは、チリで銀行口座を開設した場合の閉鎖手続き、個人で契約したインターネット利用契約などの解約手続きなど、チリで発生した契約行為の終了手続きである。

また、18歳未満の未成年者が両親とともに出国する場合は問題ないが、両親のどちらかと未成年者が出国する場合、もしくは両親ともに同伴しない場合は、公証人事務所で作成した、同伴しないほうの親もしくは両親による出国同意書を、空港の出国手続きの際に提出する義務がある。この際、親子関係を証明する出生証明書、またはチリ市民登録局発行の家族手帳の提示が必要で、両親と共に出国する場合

でも提示する必要がある。同伴しない親がチリ国外にいる場合、その滞在する国のチリ領事館で出国同意書の手続きを行う必要がある。

(2) 車の処分

・税込み購入の場合：

買い主と公証人事務所で売買契約書を交わし、車両売買にかけられる税金を支払う。その契約書を市民登録所に提出して、車両の名義変更手続きを行う。税金の支払い、名義変更手続きは、買い主が行う。

(3) 家財道具の処分

JICA専門家の多くは家具付きの家、アパートに入居しているため、家具を売却する例は少ない。売却する際は知人に売却することが多い。

日本へ持ち帰る場合は、現地の代理店に発送を依頼する。個数が少なければ郵便小包(通常便1箱30kgまで、EMS国際スピード便も30kgまで)で少しずつ送る方法もある。

主な輸送会社は次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。

- ・Ward Van Lines Ltd.
- ・三谷インベルシオネス
- ・OCSサンティアゴ代理店
- ・Decapack

(4) 住宅の明け渡し

前述の1-5「住宅の契約」を参照のこと。

(5) 外貨持ち出し規制

特に規制はない。ただし、米国などの経由国や日本で、持ち込みや持ち出しの申告などの手続き義務あり。

12. 治安、 緊急時の心得



※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

チリの反政府運動としては、「マヌエル・ロドリゲス戦線」と「ラウターロ民族戦線」と名乗る全国組織を形成したグループの犯行があり、1990年代前半まで、警察署襲撃、金融機関への現金強盗、送電線の鉄塔破壊などが相次いだ。しかし、これらのテロ活動も現在は沈静化し、1990年代後半以降目立った事件は発生していない。そうしたなかで、ここ数年、人がいない夜間にアメリカ系企業などに爆弾を仕掛けるという無差別テロが連続的に発生している。新たなテロ活動として、今後も注意が必要である。

チリでは、1973年に軍事クーデターが発生し、1980年代まで軍事政権が続いた。その後民主政治が復活して軍政時代の制度を徐々に民主化し、政治的に安定してきている。そのため、今後クーデターが発生する可能性は非常に低いといわれているが、軍事クーデター直後に発生した多数の行方不明者の人権問題はいまだに解

決には至っておらず、左派と右派の対立の根源となっている。

(2) 対処法

個人でも、大使館や警察、信頼のおける近隣者、病院、医師、日本の家族など、緊急連絡先のリストを作成しておくとい。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

当国の人口1709万人(2010年推計)の約4割の688万人がサンティアゴ首都圏に集中しているが、警察による犯罪認知件数の比率でも、2010年認知件数合計約60万件のうち、サンティアゴ首都圏に約43%の25.9万件が集中している。また、サンティアゴ市内の中心部にあるサンティアゴ区(通称セントロ地区)での認知件数が常に全国一で、全国の約5%の3万件が発生し、日本大使館のあるプロビデンス区及びJICA事務所のあるラス・コンデス区の3区を併せると全国の10%弱の5.7万件が発生している。更に、犯罪別では、空巣、スリ、引ったくりなどの窃盗被害が全体の71%(42.7万件)を占め、強盗などの凶悪犯罪は8.9%(5.3万件)、傷害は19.2%(11.5万件)となっており、窃盗犯罪が圧倒的に多い。

そのため、サンティアゴ滞在中は、官庁街のあるセントロ地区でのスリや引ったくりの被害に注意すると共に、プロビデンス区やラス・コンデス区でも盗難被害に注意する必要がある。

また、チリの主要な観光地であるビニャデルマルとバルパライソがあるバルパライソ州、イキケのあるタラパカ州、及びアントファガスタ市のあるアントファガスタ州は、人口当りの犯罪認知件数が首都圏州よりも高いため、これらの地域でも注意が必要である。

(2) 住宅の防犯対策

都市部で生活する場合、一戸建てより集合住宅のほうが安全である。集合住宅物件では、過去に4階の住居にベランダから侵入された関係者のケースが発生したため、5階以上の物件を推奨している。

地方では、集合住宅がない場合もある。その場合は、塀、玄関、窓など、侵入の可能性がある箇所への鉄格子の設置の有無、必要性なども確認する必要がある。

(3) 市中での防犯対策

外出時には、周囲の状況を把握する、多額の現金を持たない、貴金属などは身につけない、夜間に暗い小道などに入らないなど、細心の注意を払うべきである。不審人物の接近、尾行などにも常に警戒する必要がある。

空港、ホテル、レストランなどでは荷物を手元から離さないこと。小銭は別に持ち歩くようにし、買い物や飲食代の支払い時などには、人前で多額の現金の入った財布を出したり、現金を数えたりしない。

また、地下鉄、路線バスなどの公共の乗り物内でのスリによる被害が多発しているので、利用する際は、荷物はできるだけ少なくして身体の前に置く、乗降口のそば

の席は極力避ける、不要な貴重品、金銭は持ち歩かない、後ろから見えるポケットには財布、クレジットカードなどは入れない、知らない人間が意味もなく近づいてきたら、自分も別の位置に移動する、などの注意が必要である。

(4) 注意すべき場所、危険地域

<サンティアゴ市の要注意箇所>

・サンティアゴ区の中心部 : 全国で最も犯罪認知件数が多い。同地区を歩行する際は、スリ、かっぱらいなどの犯罪者が必ずいると考え、不要の金銭、貴重品は携帯しないようにする。また、官公庁街、大学近辺では労働組合、学生グループなどによるデモが発生することがあるため、デモを見かけたら、その場からすぐに離れるようにする。

・サンティアゴ区からプロビデンス区への歓楽街 : 同地区の飲食店街では、夜間麻薬売買が行われることがあるため、見知らぬ人間からの誘惑に乗らないようにする。また、睡眠薬犯罪もあるので、見知らぬ人間から飲み物の提供を受けても、断る必要がある。

・ビタクラ区、ラス・コンデス区などのショッピングモール : パルケ・アラウコ (Parque Arauco)、アルト・ラス・コンデス (Alto Las Condes) などのモールには、スリなどの犯罪者も集まっているため、不要の金銭、貴重品は携帯しないようにする。

・プロビデンス区、ラス・コンデス区等の住宅地 : 関係者、日本人駐在員などが居住している地区だが、他所と比べて高所得者層が住んでいるため、空巣、強盗犯罪者の標的となっており、近年犯罪が急増している。長期間留守にする時は、施錠を確認するとともに、信頼できる人に鍵を預けて定期的に確認してもらうか、警備会社のアラームを設置するなどの対策を講じる必要がある。

・環状線アメリコ・ベスピオ (Américo Vespucio) 通り沿いの貧困者居住地区 : 同環状線のサンティアゴ南方、西方、北方にはいくつかの貧困者居住地区や左翼シンパ居住地区があり、犯罪多発地区となっている。

日本人が近づく必要がある地区ではないので、行く機会もないと考えられるが、知らない地域に招待を受けて出かける場合などは、行く前に地図で確認し、これらの地区を通る必要があるかどうかを事前に確認する必要がある。

・地方都市の注意箇所 : 地方都市の中心部は、一般犯罪の発生率が高く、全国ストなどがあるたびにデモも発生する場所であるため、地方都市の中心部を歩行する際も注意が必要である。また、海岸沿いの観光地でも、麻薬犯罪、一般犯罪の発生率が高いため、注意すること。

(5) 被害時の心得

強盗に襲われた場合は抵抗をしないのが鉄則である。犯人も興奮しているので、抵抗の気配を感じると即座に凶器を振りかざしてくることが多い。生命を第一に考え、犯人を刺激しないことが肝要である。

被害に遭ったら速やかに大使館や関係機関に連絡すること。また、警察に届け

(電話 :133)、必ず盗難証明書などを発行してもらうこと。警察は迅速に出動するとは限らないため、通報後は現場保存に努め、現地の言葉に精通した知人に応援を求めるとよい。

人身に被害があった場合は、速やかに救急車の出動を要請すること。下記の医療機関では専属の車両を保有している。

・救急車の緊急電話番号はチリ全国「131」。

・サンティアゴ居住者で、次の病院の近隣地区に居住する場合は、病院が備えている救急車を利用できる。

Clinica Alemana 電話 :急患02-910-9911、代表02-210-1111

Clinica Los Condes 電話 :急患02-610-7777、代表02-610-8000

Clinica Santa Maria 電話 :代表02-913-0000

このほかに、救急車の配車のみを行っている民間会社が多数ある。電話帳のAMBULANCIA(救急車)の項でこれらの電話番号を調べることができる。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

火災、風水害はきわめて少ない。6月から8月にかけて大雨があったり、アンデス山脈の頂上付近で雨が降ったりすると、洪水が発生することがある。日本人の多くが居住する地域は、一部道路が冠水することがある。

チリは日本同様いわゆる地震国であるため、北から南までの4千キロを越える全土で、海洋プレートが南米大陸プレートに沈み込む地殻変動により、地震発生のリスクを常に抱えている。2010年2月27日(土)午前3時34分にマウレ州(第7州)南部のCauquenes市西方太平洋上を震源にマグニチュード8.8の大規模地震が発生し、サンティアゴ首都圏州からコンセプション市のあるビオビオ州(第8州)にかけての広い範囲で強い揺れが発生し、甚大な被害が発生した。その後もオヒギンス州(第6州)からビオビオ州(第8州)にかけての地域では余震が続いている。

(2) 防災対策

高性能のラジオは必需品である。緊急事態には国際放送が唯一の情報源となることも多い。ラジオジャパンなどの国際放送に日ごろから親しんでおくとよい。周波数や放送時間をリストにしておくとう便利である。

緊急時には、言葉ができるか否かで状況はおおいに異なってくる。英語はまず通じないので、緊急時に必要な最小限のスペイン語は習得しておくこと。不安がある場合は、日本語／スペイン語の対語表を用意しておくとうよい。

ひとつのスーツケースなど(軽量で丈夫な鍵付きのもの)に必要な最小限のものをまとめ、それさえあればどこへでも移動できるようにしておく。

家族の旅券、保険証書類、預金通帳や金券類、未使用の小切手帳など、大切なものはひとまとめにして安全な場所に保管すること。ただし、保管場所は他人(使用人を含む)に知られないように注意すること。また、旅券と一緒に、旅券用写真

(5×5cm、正面、脱帽のものを各人5枚ずつ)なども用意しておく。

少なくとも家族全員が隣国へ移動できる旅費と、7～10日間分の生活費を、米ドルの現金(なるべく小額紙幣で)かトラベラーズチェックで用意しておくことが望ましい。国際クレジットカードがあれば、現金の用意は少なくできる。小切手は現金化に時間がかかるので緊急時には勧められない。

約1週間分の米、調味料、保存食品、飲料水を備蓄しておく。燃料は小型ガス(プロパンまたはブタン)ボンベ、固形燃料、油性燃料など、数種類準備するのが望ましい。

救急薬品、携帯小型ラジオ、懐中電灯(予備電球、電池)、ライターまたはマッチ、ナイフ、缶切り、栓抜き、水筒、洗面具、タオル、ティッシュ、毛布、地図などを用意しておく。特に、懐中電灯は使用可能な状態にして数カ所に備えるとよい。

緊急連絡に支障を来す恐れがあるので、日ごろから長電話を控える。

自動車は常時整備し、燃料は常に十分な状態にしておく。

(3) 被災時の心得

緊急事態に際しては、個人や一法人だけでは解決のつかないことがほとんどである。最終的には大使館に連絡をとり、その指示を仰ぐこと。

平静を保ち、流言飛語に惑わされたり、群集心理に巻き込まれたりしないように十分に注意し、チリ在留日本人間の連絡、ラジオ、テレビニュースの聴取、大使館への問い合わせなどで、正確な情報の把握に努めること。避難時の服装は、動きやすく、寒暑に十分に耐え、人目をひかないものがよい。

地震の際、または治安が極度に悪化した場合の自動車の使用には、十分な注意が必要である。事態によっては、使用を見合わせたほうがよい。

12-4 緊急連絡先電話番号

- ・日本大使館 : 02-232-1807
- ・警察 : 133
- ・消防 : 132
- ・救急 : 131

13. 社交



13-1 風俗習慣

チリは、スペイン、ドイツ、イギリスなど、西欧諸国の影響を受けており、これに独自の風土からくる文化が加味されている。したがって、ラテン的気風はあまり見られない。

太平洋、アンデス山脈、アタカマ砂漠に囲まれ、ほかの中南米諸国から隔絶された歴史を有するためか、他国への関心は深い。

規律を守り、儀式を重んじる国民性である。

13-2 パーティーでの留意点

時間を守り、服装は失礼にならないように正装を心がける。

13-3 来客時の留意点

夕食は21:00ごろからがふつうである。

13-4 訪問時の留意点

約束の時間より5分程度遅れて行くのが礼儀である。食事に招待された場合は、ワイン、チョコレートなどを贈り物として持参するとよい。また、日本的な民芸品の小物をプレゼントすると非常に喜ばれる。当日になって約束を断るのは失礼である。


13-5 禁止されている言動(タブー)

通常の社交マナーを心得ていれば、特に問題はない。

13-6 日本人会

日本人移住者およびその子弟たちで構成される「チリ中央日本人会」と、日系進出企業を中心とする法人で構成される「日智商工会議所」が同一の会館内(Alcantara 772, Las Condes)にある。両者は定期的に合同の親睦会を開催している。

また、「第5州日系人会」(チリ第5州在住の日系人組織)が、2003年に法人化した

 (日本人会、日系人会に関する詳細はPart3イエローページを参照)。

13-7 JICA帰国研修員同窓会



JICAなどの研修で日本に滞在したことがあるチリ人を中心にAsociación Chilena de Ex-Becarios de Japónが結成されており、年数回の割合で親睦会と日本での研修についての経験交流会を開催している。JICA関係者にも招待がある。

13-8 現地の人々との交流

団体同士の交流としては、日智商工会議所や日系団体以外と交流する機会は少ない。そのため、野球やサッカーなどのスポーツや趣味で、グループ単位での交流、職場や近所の人との個人的な交流が主になる。

個人的な交流では、誕生日や独立記念日、クリスマスなどの機会に贈り物を贈ったり、バーベキューパーティーを開いたりする。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

チリの教育制度は、前幼稚園(Prekindergarten、2～4歳、1～3年間)、幼稚園(Kindergarten、5歳、1年間)、初等教育(Ensenanza basica、6歳～、8年間)、中等教育(Ensenanza media、14歳～、4年間)、大学(Universidad、4～6年間)、大学院(Grado academico、Master 2年間、Doctor 4年間)、各種学校(Instituto、1～4年間)となっている。

(2) 日本人学校



小中学校併設のInstituto de Ensenanza Japonesa(サンティアゴ日本人学校、詳細はPart3イエローページを参照)があり、日本の文部科学省のカリキュラムに沿って授業が行われている。日本から教師が赴任しており、現地講師を加えて授業をしている。2011年3月現在、36人の小中学生が在籍している。

日本人学校では、土日が休みで、3学期制を採用している。第1学期は4月1日～7月31日、第2学期は8月1日～12月31日、第3学期は1月1日～3月31日となっている。

<入学手続きおよび授業料>

入学手続きは直接学校に出向いて行う。学期の途中でも入学できる。

2011年1月現在の入学金は、日智商工会議所企業会員250米ドル、非会員400米ドル、学債500米ドル、授業料は、2011年3月現在で月額約29万5000ペソ、スクールバス代は7万9600ペソ、PTA会費月額3000ペソである。学校が指定したエリア内であればスクールバスが迎えに来る。

日本から用意する提出書類は、a.在学証明書、b.指導要録の写し、c.歯科検査票、d.健康診断検査票。このうちb～dの書類は、本来は原籍校から、後日日本人学校に郵送されてくるものであるが、チリの郵便事情を考えると、原籍校に依頼して保護者がチリに赴任する前に直接受け取り、持参したほうが確実である。

中途編入の場合は、使用する教科書が違う場合があるので、海外子女教育振興財団に問い合わせ、日本人学校で使用する教科書の支給を受けること。教科書の支給を受けるには、原籍校から発行される教科書給与証明書が必要である。

(参考文献：『ようこそチリへ(2005年版)』日

智商工会議所編)

<海外子女教育振興財団>

URL : <http://www.joes.or.jp/>

E-mail : service@joes.or.jp

(3) 現地校、外国人学校

日本人子弟が編入学できる現地校、外国人学校はいくつかある。現在、日本人子弟が多い学校は下記のとおりである。

入学手続きは直接学校に出向いて行う。学校によっては入学試験があったり、定員制のために欠員が出るまで入学できなかつたりするところがある。入学金、授業



料などは学校により大きく異なる。通学手段は父兄による送迎が多いが、居住区域によってはスクールバスが利用できる。


<アメリカンスクール>

 Yellow Page ・Colegio Nido de Aguilas

・Santiago College


(4) 幼稚園

現地のほとんどの幼稚園は随時入園可能である。

 Yellow Page そのほか、日本人学校入学予定者を対象に「わんぱく・クラブ」があり、日本語で授業を行っている。

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

 Yellow Page サンティアゴには国立図書館、国会図書館の支部のほか、サンティアゴ公立図書館などの公立の図書館があり、日本人も利用できる。入場と閲覧は自由だが、持ち出しをするためには、年間会費を支払い、会員になるなどの条件がある。

ほとんどの書籍がスペイン語の図書である。

日商工会議所(TEL : 02-373-8841、13-6「日本人会」参照)にも図書室があり、日本語の図書が利用できる。

15. 家庭の使用者



15-1 一般事情

一般に家政婦／夫を雇うほか、一戸建て住宅では庭師、ガードマンを雇用している。住み込みと通いがあり、給与はそれほど高くない。

15-2 運転手

(1) 雇用

団体で雇用するケースがほとんどであり、個人での雇用は少ない。

雇用方法は、知人からの紹介か新聞広告による。選考方法は面接、身上調査、健康調査などのほかに、前の職場での評価、推薦をとることが重要である。一般に、言語はスペイン語のみで英語を話す人は少ない。

労働契約は契約書によって行う。条件は書面で明確にするとトラブルが少ない。契約事項としては、賃金、支払い方法、勤務時間、休日、休暇、ボーナス、昇給、超過勤務、特殊手当(交通費、食費など)、解雇条件、退職金、試用期間などが挙げられる。条件の設定にあたっては、いくつかの日系企業の状況を参考にするとよい。

(2) 日常管理

出退勤、走行、燃料、部品管理、洗車、保守点検など、指示は明確に行う必要がある。

(3) 教育指導

現地ではスピードの出しすぎ、急停車、方向指示不徹底、駐車違反などが多く、事故も少なくない。したがって、安全運転を主としたマナーを指導する必要がある。

(4) その他の留意点

独立記念日(9月18日)の前日、クリスマスイブ前日には、雇用主からアギナルドと称する特別手当の支給と、ちょっとした贈り物をする習慣がある。また、誕生日にもプレゼントを渡すなど、良好な人間関係を築く努力が大切である。

15-3 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

通常、家政婦／夫は、掃除、洗濯、料理、給仕、皿洗いなどを1人でこなす。家政婦／夫の人数は、アパートでは1人が多く、一戸建ての場合は家の大きさや家族構成によるが、1～3人である。

夜間に外出する際の子守は家政婦／夫に依頼する。また、大学生のアルバイトを採用している家も多い。

(2) 雇用

前任者から引き継いだり、知人の紹介を受けたりする方法がある。新聞広告を使うこともできるが、選考にあたっては身元の確認を慎重に行うこと。

適任者が決まったら、最初に労働契約書を交わし、条件を確認しておく必要がある。労働契約は就労から15日以内に締結しなければならない(ただし、30日未満の契約期間の場合は5日以内に契約を文書化しなければならない)。その後の解雇には、1か月前の解雇通知、または1か月分の給与支払いが必要となる。退職金については、雇用者は家政婦／夫労働者の場合のみ、年金会社に毎月積立金を支払う義務がある。解雇の際には、公証人事務所で労働契約終了書に雇用者、労働者双方が署名して文書を作成する。この契約終了書を年金会社に提示することで、家政婦／夫労働者は積立退職金を受け取ることができる。

雇用者には、一般の労使関係と同じように労働法の規定に従い、社会保障の掛け金を負担することが義務づけられており、社会保障団体(健康保険と年金)に直接払い込む。給与の支払時に、社会保健料、所得税を控除し、給与明細を渡す必要がある。雇用者は、こうした雇用者の義務を怠ると罰則を科せられる。日本のアルバイトのような雇用形態はないため、失念しないように注意すること。

(3) 日常管理

通常、家政婦／夫の食事場所、食器は家族と別にする。部屋または戸棚、ロッカー、貯蔵庫などは施錠することが望ましい。

電話の利用、テレビ、ラジオの視聴は許可を得るように指導する。また、勤務中の友人の来訪は禁止するなどの注意が必要である。

雇用主としての威厳を保つことが大切である。

15-4 庭師、ガードマン

ガードマンの雇用でも、条件を明確にするために労働契約書を交わす必要がある。家主、前の住人、管理人、知人などの紹介により、身元が確実な人物を雇用すること。

また、警備会社と契約して人を派遣してもらうこともできる。会社によって勤務体制、費用などはさまざまなので、十分に検討すること。

庭師は庭の規模により、1～2週間に1度来てもらう。通常、契約書は交わさず、不規則な請負契約として、1回くらいにするかどうかを口頭で確認する。ただし、定期的に雇用している形態であれば、週1日か2日の勤務でも労働契約を結ぶ必要がある。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

サンティアゴで発行されている主要新聞(日刊紙)は以下のとおりである。

- ・「El Mercurio」(最有力紙)
- ・「La Tercera」(最大発行部数紙)
- ・「La Nacion」
- ・「La Ultimas Noticias」
- ・「La Segunda」
- ・「Estrategia」(ビジネス紙)
- ・「Diario Oficial」(官報)

購読の契約には、1カ月、6カ月、1年があり、契約期間が長いほど割安になる。購読料は申し込み時に一括払いする。また、新聞は、街のキオスクやバスターミナル、空港、ホテル売店などでも販売されている。

なお、日刊紙はすべてスペイン語である。

(2) 日本の日刊紙

日本の新聞はOCSを通じて購入が可能である。申し込みは日本のOCSでも、サンティアゴの代理店でもできる(問い合わせ先はPart3イエローページ「20.国際宅配サービス会社」を参照)。サンティアゴ市内であれば宅配を行っており、サテライト版は当日または1～2日遅れ、そのほかは日本より2～3日遅れで到着する。

日本の書籍、雑誌などもOCSを通じて購入できる。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

周波数帯域はAMが530～1600kHz、FMが88～108MHzである。狭い周波数帯域に小出力の放送局が密集しているため、高性能のラジオを日本から持参することを勧める。

クラシック、ポップス、ジャズ(スペイン語および英語)の番組が多い。

(2)NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

NHKワールド・ラジオ日本の南米向け放送を受信できる。

詳細はNHKワールドのインターネット情報で確認するとよい。

16-3 テレビ

(1)地上波放送局

サンティアゴで受信できるのは、国営テレビ局1局、民間テレビ局6局である。どの局もカラーで、放送時間は8:00前後～24:00前後。

- ・La Red
- ・UCV Television
- ・TVN(国営)
- ・Mega
- ・Chilevision
- ・Canal 13

(2)衛星放送、ケーブルテレビ

ケーブルテレビ会社数社が、衛星放送またはケーブルテレビでサービスを提供している。そのうち、いくつかの会社は、インターネットや固定電話のセットの商品も提供している。2011年4月現在、NHKワールド・プレミアムを受信できるのは、衛星放送のDirecTV社のみとなっている。

(3)テレビ受信

最近では薄型テレビが普及し、家電製品店、スーパーなどで容易に購入できる。また、携帯電話でも受信できるサービスが提供されている。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



Yellow Page

17-1 スポーツ

(1)ゴルフ

チリでは会員権の取得が近年厳しくなっているため、日本人が利用しているゴルフ施設は現在Club de Golf La Dehesa(詳細はPart3イエローページを参照)の1カ所のみである。

(2)テニス、フィットネス

サンティアゴ市内には、複数のテニスクラブやフィットネスクラブがある。

(3)その他のスポーツ

サンティアゴ市内から車で1時間半ほどのところにスキー場施設が3カ所あるので、日本人などがよく利用している。また、ボーリング場は2カ所あり、不定期に日智商工会議所の愛好家グループで大会が開かれる。

その他では、やはり日智商工会議所の野球やサッカー愛好家グループが現地のグループと不定期に対戦を行っている。釣りの愛好家は、船をチャーターしての

海釣りや、湖でのペヘレイ釣り、溪流でのマス釣りなどを楽しんでいる。

17-2 趣味

演劇、クラシック音楽、オペラの観賞を好む人はTeatro Municipal de Santiago劇場で鑑賞できる。前売り券は、同劇場やParque Araucoショッピングセンター、ホームページでも購入できる。

17-3 語学学習



チリの公用語はスペイン語だけである。その他の言語としてはマプーチェ語があるが、第9州の一部でしか使われていない。語学学校、個人授業でスペイン語を学習することができる。

(1) 語学学習施設

サンティアゴには、日本人に限らず、外国人向けの語学学校が複数ある。

主な語学学校は、次のとおり。

- ・Natalis Language Centre
- ・Berlitz Language Center
- ・日智文化協会

(2) 家庭教師

家庭教師によるスペイン語学習は、経験がある教師を日本人に紹介してもらるか、日智文化協会に紹介してもらうとよい。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

外国人の国内旅行に対して特に規制はない。

軍事施設、港湾、橋梁などは、写真撮影が禁止されているところがある。撮影する前に周囲の人に聞くなどして確認すること。

18-2 主要観光地・保養地

チリには自然に育まれた多様な景勝地がある。

各地の観光スポットは次のとおりである。

<首都サンティアゴ市内>

- ・サンティアゴ・セントロ

庶民的な雰囲気のあるセントロには、プラサ・デ・アルマス広場を中心に植民地時代の教会、博物館などが立ち並んでいる。銅、皮革、ラピスラズリなどの民芸品を売る店が何軒かある。

- ・プロビデンシア地区、ラス・コンデス地区

別名バリオ・アルト(山の手)とも呼ばれる。近代的なショッピング街があり、歩道にテーブル、いすを持ち出したレストランやカフェテリアが並んでいる。通りに入る

と高級マンションが林立している。

・サンクリストバルの丘

海拔880m、市街との標高差340mのこの丘から、サンティアゴを一望することができる。動物園、植物園、プールなどがあり、市民の憩いの場となっている。車でも登れるが、ロープウエー、ケーブルカーも利用できる。

<サンティアゴ近郊>

・ビニャデルマル

チリを代表する保養地である。サンティアゴの北西120kmのところであり、太平洋に面している。リゾートマンションが立ち並ぶ。公営のカジノがあり、シーズン中や週末は特ににぎわっている。最近まで、カジノの入場には、男性はネクタイの着用が義務づけられていたほどなので、身なりには気をつける必要がある。

・レニャーカ、コンコン

手狭になったビニャデルマルに代わり、リゾートマンション、レストランなどが増えている。

<北部地方>

・サラール・デ・アタカマ

サンティアゴの北1600km、海拔2300mにあるアンデスの陥没によりできた3000平方kmにも及ぶチリ最大の塩湖で、その広さは東京都の約1.5倍である。広大な景観に慣れていない日本人は度肝を抜かれる。

・ラ・セレーナ

サンティアゴの北500kmにあり、コロニア時代の雰囲気の色濃く残る、北部で最も古い町である。ビーチ沿いは近年急速にリゾート開発されているが、静かなプライベート・ビーチもまだ多い。夏季にはサンティアゴとの航空便も増発され、ビニャデルマルに次ぐ高級保養地となっている。

<南部地方>

・チジャン

サンティアゴの南500kmに位置し、温泉とスキー場で有名である。温泉は、チジャン火山で湧き出た3つの異なる泉質が楽しめる。夏には噴気孔めぐりや泥風呂、ガイド同行で馬に乗って出かける3日間の探検もよい。

・ビジャリカ

サンティアゴの南760kmに位置する。ここから南はいわゆるチリの湖水地方と呼ばれ、数多くの湖が満々と水をたたえて広がっている。

また、各種水上スポーツのメッカで、近年はトリアスロン大会の開催地としても有名である。水面には富士山に似たボルカン・ビジャリカの美しい姿が映し出される。

・ラゲーナ・サンラファエルへの船旅

プエルトモンから、フィヨルドのなかに散在する島の間をぬって航行し、氷河が海に崩れ落ちる雄大な景観を見る船旅である。2泊3日～1週間のコースがある。

・トーレ・デ・パイン国立公園

南米大陸最南端の国立公園であり、南緯51度に位置する。登山家に有名な壮絶な大岸壁のパインの塔や、南北400kmに及ぶ大陸氷河や湖沼、原生林やさまざまな野生動物など、変化に富んだ雄大な自然を堪能することができる。

多様なトレッキング・ルートがあり、2～3日から6～10日まで、いろいろなコースがある。1周コースは熟練者向きで、完全な装備が必要である。

山歩きが苦手な人でも、付近の散策でその美しさを十分に満喫することができる。

・イースター島(イスラ・デ・パスクワ)

サンティアゴの北西4000km、太平洋に浮かぶ巨石像(モアイ)で有名な島である。島にはレンタカー、レンタバイクもある。サンティアゴから週2便、飛行機が出ている。なお、この飛行機は1時間の給油後タヒチ島へ向かう。

<チリワイン>

チリはワインの名産地であり、数あるワイナリーのなかには、ガイド付きで見学させてくれたり、試飲をさせてくれたりするところがある。主なワイナリーに



VinaConcha y Toroがある(詳細はPart3イエローページを参照)。

18-3 旅行代理店



山一旅行社、三谷トラベルサービスの日系2社(詳細はPart3イエローページ「5. 不動産会社」を参照)では日本語による予約ができる。そのほか、大手の旅行代理店では、Turismo Cochaなどがある。

19. 私財の輸送、引き取り、購入



19-1 家財道具

(1) 輸送会社

日本で委託した引っ越し会社が現地のエージェントを使って通関手続きをするとともに、そのエージェント専属の輸送会社を手配するが多い。

日本から送付された家財がチリに到着すると、現地の輸送会社代理店から所有者に連絡があって通関手続きが開始され、関税を支払ったあとで家財を受け取ることができる。

(2) 輸入手続き

無税通関手続きを行わない場合は、関税を支払うことで、家財到着後すぐに通関手続きが開始される。

(3) 輸入貨物の受け取り港

船荷物は、サンティアゴから約130kmの位置にあるバルパライソ港に陸揚げされる。

19-2 自動車

(1) 一般状況

赴任後なるべく早く購入したい、もしくは帰任直前に車を処分したい場合は、税金込みで購入したほうがよい。詳しくは11-3「帰国手続き」の(2)「車の処分」を参照。

サンティアゴには各国の自動車販売会社の代理店があり、扱っている車種も豊富である。日本車、韓国車、アメリカ車、ドイツ車、フランス車、イタリア車、中国車などがある。また、ブラジルおよび東欧からも輸入されている。

中古車も多数販売されているが、整備状況に不安な面があり、割高である。

(2) 輸入手続き

無税通関手続きを経ないで新車を購入する人は、既に輸入手続きが終了している新車をディーラーから購入する。個人で輸入するのは、輸入許可などの複雑な手続きがいるため、非常に困難である。

(3) 現地での購入

税込みで購入する場合は、ディーラーから購入して自動車登録を済ませれば、すぐに使用できる。

(4) 自動車登録

該当情報なし。

(5) 免許証取得

有効期間内(1年間)の国際免許証があれば、運転できる。

チリの免許証を取得するには、自動車教習所に登録し受験するのが一般的である。受験には、学科試験(スペイン語)や実地試験などがある。国際免許を所持している日本人の場合は、実地試験は免除されることが多いが、学科試験は受けなければならない。

(6) 保険、税金

強制保険と任意保険への加入が必要である。強制保険は、掛け金が安いのが、補償内容は対人のみで、補償額上限が約13,000米ドルとなっている。そのため、万一の事故発生の場合を考えると任意保険をかけておく必要があるが、当地の新車の乗用車の場合、車両、対人、対物、搭乗者をカバーする内容の場合、年間2,000米ドル以上の保険料となるが、補償額はあまり高くない。また、任意保険は1年間で切れる場合が多いので、その場合1年後の再加入手続きを忘れないようにする必要がある。

PATナンバーの取得者には道路使用税の支払い義務はない。白ナンバーを取得した場合は毎年3月に税金を支払う。

20. 地方都市



チリでは、人口1,700万人(2010年推定)の4割の688万人がサンティアゴ首都圏州に居住しており、一局集中状態となっている。人口第2の都市ビニャデルマル(Viña del Mar)市は29万人、第3の都市バルパライソ(Valparaíso)市は27万人、第4の都市コンセプション(Concepción)市は23万人となっている。

ビニャデルマル市とバルパライソ市は隣接しており、サンティアゴから120kmで、車やバスで約2時間のところに位置する。一日の気温差が大きい内陸気候のサンティアゴに比べて、気温差が小さく、特に夏は過ごしやすいため、観光客や首都圏からの避暑客であふれる。

両市には在留日本人はほとんどいないが、日系人は家族を含め100人程度居住していると推測される。バルパライソに国会があるため、左翼による政権批判のデモが年に数回発生することと、観光シーズンに一般犯罪が急増することに注意する。また、日本の食材を入手することが難しいので、サンティアゴに立ち寄った時に購入する必要がある。

Part 3 イエローページ

* 特に記載のない限り、事務所周辺の情報が中心になっています。

1. JICA 事務所

| | |
|------------|---|
| 所在地 | Av. Apoquindo 3650, Of. 704, Las Condes, Santiago, Chile (最寄駅:地下鉄 1 号線 Alcántara 駅、徒歩 3 分) |
| TEL/FAX | TEL: +56-2-208-9990 FAX: +56-2-228-8758 |
| URL/E-mail | URL: http://www.iica.go.jp/chile/index.html E-mail: ci_oso_rep@iica.go.jp |

2. 日本大使館

| | |
|------------|--|
| 所在地 | Ricardo Lyon 520, Providencia, Santiago |
| TEL/FAX | TEL: 02-232-1807 FAX: +56-2-232-1812 |
| URL/E-mail | URL: http://www.cl.emb-japan.go.jp/ |

3. 緊急連絡先電話番号

| | |
|-------|------------------|
| 日本大使館 | TEL: 02-232-1807 |
| 警察 | TEL: 133 |
| 消防 | TEL: 132 |
| 救急 | TEL: 131 |

4. ホテル

・Hotel Plaza El Bosque Suites

| |
|--|
| San Sebastián 2800, Las Condes |
| TEL: 02-498-1800 |
| FAX: 02-498-2001 |
| URL: http://www.plazaelbosque.cl/suites/hotel.html |
| E-mail: dep.reserva@plazaelbosque.cl |

地下鉄 Tobalaba 駅に近い。同じホテルの経営で、より高級な客室のある Hotel Plaza El Bosque Park & Suites は、直ぐそばながら住所が異なる (Ebro 2828)。

・Apart Hotel Santa Magdalena

| |
|--|
| Helvecia 244, Las Condes |
| TEL: 02-374-6875 |
| FAX: 02-374-6874 |
| URL: http://www.santamagdalena.cl/ |
| E-mail: info@santamagdalena.cl |

地下鉄 Tobalaba 駅に近い。

・Apart Hotel Alessandria

| |
|--|
| Av. El Bosque Norte 033, Las Condes |
| TEL: 02-233-2079 |
| FAX: 02-233-2086 |
| URL: http://www.alessandria.cl/ |
| E-mail: elbosque@alessandria.cl |

地下鉄 Tobalaba 駅そば。

・Hotel Nippon

| |
|--|
| Baron Pierre Coubertin (Ex Marcoleta) 62, Santiago |
| TEL: 02-838-7000 |
| FAX: 02-635-1010 |
| URL: http://www.hotelnippon.cl/ |
| E-mail: reservas@hotelnippon.cl |

地下鉄 Baquedano 駅に近い。同じ経営者による日本食レストラン Japon が斜め前にある。

ーその他の主なホテル

・Hotel Neruda(同じ場所に Apart Hotel あり。Hotel Neruda Express は住所別)

| |
|--|
| Av. Pedro de Valdivia 164, Providencia |
| TEL: 02-679-0700 |
| FAX: 02-679-0732 |
| URL: http://www.hotelnieruda.cl/ |

料金: シングル 140 米ドル～

Las Condes 区の Hotel Neruda Express は、シングル 95 米ドル～

Hotel Neruda は地下鉄 Pedro de Valdivia 駅の近く。Hotel Neruda Express は地下鉄 Tobalaba 駅の近く。

Hotel Atton El Bosque

Roger de Flor 2770, Las Condes

TEL: 02-947-3600

URL: <http://www.atton.com/>

E-mail: reserva@atton.com

地下鉄 Tobalaba 駅そばの Hotel Atton El Bosque の他に、地下鉄 Manquehue 駅そばの Hotel Atton Las Condes がある。

•Eurotel El Bosque

Av. El Bosque Norte 0124, Las Condes

TEL: 02-658-5330

URL: <http://www.eurotel.cl/>

地下鉄 Tobalaba 駅そばの Eurotel El Bosque の他に、地下鉄 Los Leones 駅そばの Eurotel Providencia がある。

•Holiday Inn Santiago El Bosque

Av. Vitacura 2929, Las Condes

TEL: 02-499-6000

FAX: 02-499-6200

URL: <http://www.holidayinnexpress.cl/>

E-mail: reservas@talbot.cl

最寄の地下鉄駅は Tobalaba 駅。他にサンティアゴ空港前に Holiday Inn Santiago Airport がある他、地方都市にも系列ホテルあり。

～高級ホテル

•Ritz-Carlton Santiago

Calle El Alcalde 15, Las Condes

TEL: 02-470-8500

FAX: 02-470-8501

URL: <http://www.ritzcarlton.com/en/Properties/Santiago/>

地下鉄 El Golf 駅そば。次の Hvatt と共に一流ホテル

•Grand Hvatt Santiago

Av. Pte. Kennedy 4601, Las Condes

TEL: 02-950-1234

FAX: 02-950-3155

URL: <http://www.santiago.grand.hvatt.cl/>

E-mail: santiago.grand@hvatt.com

近くにショッピングセンター Parque Arauco あり。

•Sheraton Santiago

Av. Santa Maria 1742, Providencia

TEL: 02-233-5000

FAX: 02-234-1729

URL: <http://www.sheraton.cl/>

E-mail: info.business@sheraton.com

サンティアゴ市中央を流れるマポーチョ川の北岸に位置。

•Intercontinental Santiago

Av. Vitacura 2885, Las Condes

TEL: 02-394-2000

FAX: 02-394-2075

URL: <http://www.intercontisantiago.com/>

最寄の地下鉄駅は Tobalaba 駅。

•Radisson Plaza Santiago

Av. Vitacura 2610, Las Condes

TEL: 02-433-9000

FAX: 02-433-9001

URL: <http://www.radisson.com/santiago-hotel-cl-6760197/chisanti>

E-mail: radisson@radisson.cl

最寄の地下鉄駅は Tobalaba 駅。2011 年現在建設中の複合施設 Costanera Center 脇。

5. 不動産会社

- ・三谷トラベルサービス (Mitani Travel Service)、三谷インベルシオネス
 Av. Luis Thayer Ojeda 0191, piso 8, Providencia
 TEL: 02-598-8000
 FAX: 02-335-8072
 URL: <http://www.chile-tour.com>、<http://www.chile-trade.com>
 E-mail: andes@chile-tour.com
 日本語での対応が可能。不動産、旅行などを取り扱っている。
- ・山一旅行社 (Turismo Yamaichi)
 San Antonio 385, Of. 1101, Santiago
 TEL: 02-639-4610
 FAX: 02-639-9569
 URL: <http://www.yamaichi.cl/>
 E-mail: info@yamaichi.cl
 旅行の他、不動産仲介なども取り扱っている。

6. レストラン／喫茶店

< 日本料理 >

- ・Shoo Gun
 Enrique Foster Norte 172, Las Condes
 TEL: 02-231-1604
 FAX: 02-233-7100
 URL: <http://www.shoogun.cl/>
 E-mail: shoogun@vtr.net
 2 階の和室を利用する場合は、予約が必要。日曜休。
- ・Japón (ハポン)
 Baron Pierre de Coubertin (Ex Marcoleta) 39, Santiago
 TEL: 02-222-4517
 URL: <http://www.hotelnippon.cl/japon.htm>
 日曜休。
- ・Sushihana
 Av. Vitacura 2916, Las Condes
 TEL: 02-232-7961
 URL: <http://www.sushihana.cl/>
- ・Kintaro
 Monjitas 460, Santiago
 TEL: 02-638-2448
 URL: <http://www.kintaro.cl/>
 日曜休。
- ・Izakava Yoko
 Monjitas 296 A, Santiago
 TEL: 02-632-1954
 URL: <http://izakavavoko.cl/>
 日曜休。

< 中国料理 >

- ・Hona Yun
 Av. Bosque Sur 107, Providencia
 TEL: 02-334-5688
 FAX: 02-335-7952
 年中無休。

< 喫茶店 >

- ・Starbucks Coffee
 サンティアゴに多数店舗あり
 URL: <http://www.starbucks.cl/>

<その他>

・Los Adobes de Aaromedo

Argomedo 411, Santiago

TEL: 02-222-2104

URL: <http://www.losadobesdeaaromedo.cl/>

日曜営業。

民族舞踊ショーが見られる。

・Bali Hai

Av. Cristóbal Colón 5146, Las Condes

TEL: 02-228-8273

URL: <http://www.balihai.cl/>

日曜休。

民族舞踊ショーが見られる。

7.スーパーマーケット／市場ほか

<スーパーマーケット>

・Jumbo

URL: <http://www.jumbo.cl/>

Kennedy 店

Av. Pte. Kennedy 9001, Las Condes

TEL: 600-400-3000

Bilbao 店

Av. Fransisco Bilbao 4144, Las Condes

TEL: 600-400-3000

La Reina 店

Av. Francisco Bilbao 8750, Las Condes

TEL: 600-400-3000

他のスーパーに比べ、品ぞろいがやや豊富。

・Unimarc

URL: <http://www.unimarc.cl/>

Providencia 店

Av. Apoquindo 2770, Las Condes

TEL: 800-510-101

Vespucio 店

Av. Apoquindo 4335, Las Condes

Manquehue Sur 店

Av. Manquehue 1700, Las Condes

・Lider

URL: <http://www.lider.cl>

Vitacura 店

Buenaventura 1770, Vitacura

TEL: 02-219-2092

<市場>

・Mercado Central(中央市場)

地下鉄 Cal y Canto 駅

URL: <http://www.mercadocentral.cl/>

TEL: 02-696-8327

・Han Kuk

Antonio Lopez de Bello 566, Local 47, Recoleta

TEL: 02-777-2694

韓国人経営の食品店。

インスタントラーメン、味付けのり、カレー粉、みそ、ワカメ、真空パック入りゆでうどん、栄養ドリンク、焼肉のたれ、煮干し、「かっぱえびせん」、ビスケット、「ポッキー」、ガム、アメ、豆腐、キムチ、はんぺん、うどん(乾めん)、そうめん、和風だし、みりん、干しいたけ、カリフォルニア米、もち米、韓国製調理器具、炊飯器などを扱っている。

・Assi-Market

Antonio Lopez de Bello 326, Recoleta

TEL: 02-777-5254

FAX: 02-732-1408

韓国人経営の食品店。

上記の Han Kuk と同じく、韓国人経営者の多い衣類商店街地域(通称 Patronato)にあり、扱っている商品も上記の店とほぼ同じ。

・Aqua Viva

Av. Tobalaba 1183, Providencia

TEL: 02-334-1737

FAX: 02-232-0296

日本人経営の魚店。

マグロ、イカ、甘エビ、サケなどの刺し身、大正エビ、タラ、ヒラメ、イワシ、アジ、赤魚などを扱っている。魚はすべて切り身で小分けパック。すきやき、しゃぶしゃぶ用の牛肉や豚肉もある。

・Shirakiku

Bartolomé de Las Casas 1733, Vitacura

TEL: 02-218-7534

日本食食材店

8. 電気店

<家電製品チェーン店>

・Abcdin

URL: <http://www.abcdin.cl>

チリ全国に多数店舗があるが、サンティアゴ市北東部のプロビデンスシア区やラス・コンデス区には店舗がない。もともと、ABC 社とDin社の2社であったが合併した。

・Riplev

Parque Arauco 支店

Av. Pte. Kennedy 5413, Vitacura

TEL: 600-520-2020

URL: <http://www.riplev.cl>

チリ全国に 20 店舗以上ある。

9. 家具

・Almacenes Paris

Parque Arauco 支店

Av. Pte. Kennedy 5225, Las Condes

TEL: 02-336-6591

URL: <http://www.paris.cl/>

チリ全国に 30 店舗以上ある。

・Falabella

Parque Arauco 支店

Av. Pte. Kennedy 5413, Las Condes

TEL: 600-390-6000

URL: <http://www.falabella.com/>

チリ全国に 30 店舗以上ある。

10. 文房具

・Lapiz Lopez

Parque Arauco 支店

Av. Pte. Kennedy 5413, Local 101, Las Condes

TEL: 02-365-9572

FAX: 02-218-3240

URL: <http://www.lapizlopez.cl>

文房具専門店。チリ全国に 40 店舗以上ある。

11. 工具、素材

・Easy Las Condes 支店

Av. Kennedy 9001, Local1132, Mall Alto Las Condes

TEL: 02-355-8321

URL: <http://www.easv.cl>

・HomeCenter Sodimac

Las Condes 支店

Las Condes 11049, Las Condes

TEL: 02-738-1000

FAX: 02-738-1421

URL: <http://www.sodimac.cl>

サンティアゴに 10 店舗以上ある。

12. 金融機関

<銀行>

・三菱東京 UFJ 銀行サンティアゴ支店

Av. Mariano Sanchez Fontecilla 310, Las Condes

TEL: 02-345-1000

FAX: 02-333-3032

URL: なし(日本の三菱東京 UFJ 銀行は <http://www.bk.mufg.jp/>)

営業時間: 9:00~14:00

<両替商>

・両替商 Afex

Ebro 支店

Ebro 2747, Las Condes

TEL: 02-231-4265

URL: <http://www.afex.cl/>

営業時間: 月~金 9:00~18:00

13. レンタカー会社

・Hertz Rent A Car

Av. Andrés Bello 1469

TEL: 02-360-8600

FAX: 02-360-8620

URL: <http://www.hertz.cl>

大手のレンタカー会社。

14. 地図

・Instituto Geográfico Militar (IGM、軍事地理院)

Dieciocho 369, Santiago

TEL: 02-410-9463

FAX: 02-699-0416

URL: <http://www.igm.cl>

販売されている地図の種類がホームページで確認できる。

15. 救急病院

・Clinica Alemana

Av. Vitacura 5951, Vitacura

TEL・代表 02-210-1111 急患 02-910-9911

URL: <http://www.alemana.cl>

・Clinica Las Condes

Lo Fontecilla 441, Las Condes

TEL・代表 02-610-8000 急患 02-610-7777

URL: <http://www.clinicalascondes.cl/>

・Clinica Santa Maria

Av. Santa Maria 0500, Providencia

TEL・代表 02-913-0000

URL : <http://www.csm.cl/>

16.自動車修理工場

・Automotora Mitsui Ltda.

Av. Américo Vesputcio 095, Huechuraba

TEL : 02-463-7300

FAX : 02-463-7398

URL : <http://www.tovota-mitsui.cl/>

・Nissan Marubeni Ltda.

Vicuña Mackenna 3300, Macul

TEL : 800-540-400

URL : <http://www.nissanmarubeni.cl/>

17.通信関係

<長距離電話>

・188 Movistar

Av. Providencia 127, Providencia

TEL : 顧客サービス 800-200-300

URL : <http://www.188.cl>

・ENTEL

Av. Andrés Bello 2687, Providencia

TEL : 代表 02-360-0123、顧客サービス 123-123(市外局番なしで全国からかけられる)

URL : <http://www.entel.cl/>

<携帯電話>

・Movistar

Av. Providencia 127, Providencia

TEL : 代表 600-600-3000

URL : <http://www.movistar.cl>

・ENTEL PCS

Av. Andrés Bello 2687, P.14, Providencia

TEL : 代表 02-360-0123、顧客サービス 123-123(市外局番なしで全国からかけられる)

URL : <http://www.entel.cl/>

・Claro

Av. Del Condor 820, Huechuraba

TEL : 代表 800-171-171

URL : <http://www.clarochile.cl/>

18.インターネットプロバイダー

・Entel Internet

Av. Andrés Bello 2687, P.14, Providencia

TEL : 代表 02-360-0123、顧客サービス 123-123(市外局番なしで全国からかけられる)

URL : <http://www.entel.cl/>

・Movistar

Reyes Lavalle 3340, Las Condes

TEL : 代表 600-600-3000

URL : <http://www.movistar.cl>

・VTR

Av. 11 de Septiembre 2224, Providencia

TEL : 代表 600-800-9000

FAX : 600-600-9100

URL : <http://vtr.com/>

19.郵便局

- Correos Chile(中央郵便局)
Plaza de Armas, Catedral 987, Santiago
TEL: 800-267736
URL: <http://www.correos.cl/>

20.国際宅配サービス会社

- OCS サンティアゴ代理店
Los Guindos 6248, Peñalolen
TEL: 02-276-4070
FAX: 02-276-3928
URL: <http://www.ocsscl.cl/>
日本語での対応可。
- Federal Express
TEL: 02-361-6180
URL: <http://www.fedex.cl/cl/>
- TNT
TEL: 02-360-5100
URL: http://www.tnt.com/express/es_cl/site/home.html
- UPS
TEL: 800-742-587
URL: <http://www.ups.com/latin/cl/spaindex.html>
- DHL
TEL: 800-800-345
URL: <http://www.dhl.cl/es.html>
- Chilexpress
TEL: 800-200-102
URL: <http://www.chilexpress.cl>

21.運送会社

- Ward Van Lines Ltd.
Americo Vespucio 2050, Quilicura
TEL: 02-623-3373
FAX: 02-623-3916
URL: <http://www.wardvanlines.com/>
- OCS サンティアゴ代理店
TEL: 02-276-4070
FAX: 02-276-3928
*詳しい情報は「20.国際宅配サービス会社」を参照。
- Decapack
Av. Claudio Arrau 9452, pudahuel
TEL: 02-488-1000
FAX: 02-488-1010
URL: <http://decapack.cl/>
E-mail: info@decapack.com

22.日本人会

- チリ中央日本人会(Sociedad Japonesa de Beneficencia)
Alcantara 772, Las Condes
TEL: 02-206-0979
URL: <http://www.sociedadjaponesa.cl/>
E-mail: sociap@sociedadjaponesa.cl
1954年に法人化。
- 日智商工会議所(Camara Chilena Japonesa de Comercio e Industria A.G.)
Alcantara 772, Las Condes
TEL: 02-373-8841
FAX: 02-361-1073
URL: <http://www.camarachileiapon.cl/>

1980年に法人化。

・第5州日系人会(Corporación Nikkei Región de Valparaíso)

4 Norte 337, Viña del Mar

TEL: 032-33-5773

URL: <http://www.nikkeichile.cl/cnv/>

2003年に法人化。

23. 帰国研修員同窓会

・Asociación de Ex-Becarios de Japón

郵便物発送先: Alcántara 772, Las Condes

TEL: 02-207-0942

URL: <http://www.abeiaapon.cl/>

E-mail: abeiaapon@yahoo.com

24. 教育施設

<日本人学校>

・Instituto de Enseñanza Japonesa (サンティアゴ日本人学校)

Av. La Deshesa 1340, Lo Barnechea

TEL: 02-378-5499

FAX: 02-378-5499

URL: <http://www.colegiojapones.cl/>

E-mail: iei@entelchile.net

<アメリカンスクール>

・Colegio Nido de Águilas

Av. El Rodeo 14200, Lo Barnechea

TEL: 02-339-8100

URL: <http://www.nido.cl/>

・Santiago College

Lta 2465, Providencia

TEL: 02-751-3800

FAX: 02-751-3802

URL: <http://www.scolledge.cl/>

E-mail: webmaster@scolledge.cl

<幼児教育>

・わんぱくクラブ

Canciller Dolfus 1932, Las Condes

TEL: 02-813-5891

E-mail: wanpakuskvota50@hotmail.com

対象年齢: 2~6歳

情報元: 海外子女教育振興財団 URL:

<http://www.joes.or.jp/g-kaigai/yoji/yoji04/02.html>

25. 図書館

・国立図書館

Av. Libertador B. O'Higgins 651, Santiago

TEL: 02-360-5272

利用時間: 月~金 9:00~19:00、土 9:10~14:00

URL: http://www.dibam.cl/biblioteca_nacional/

・国会図書館

Compañía 1175, Piso 3, Santiago、本部は国会のある Valparaíso

TEL: 02-270-1700

URL: <http://www.bcn.cl/>

利用時間:月～金 10:00～17:30

・サンティアゴ公立図書館

Av. Matucana 151, Santiago

TEL:02-328-2000

利用時間:月～金 11:00～20:30、土・日 11:00～17:00

URL: <http://www.bibliotecasantiago.cl/>

26. 海外の新聞、雑誌の講読

<日本の新聞、雑誌>

・株式会社 OCS

輸出購読サービス

〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13

TEL:03-5476-8131

FAX:03-3453-8091

URL: <http://www.ocs.co.jp/>

E-mail: webmaster@ocs.co.jp

* サンティアゴの代理店は「20.国際宅配サービス会社」を参照。

27. ゴルフ/テニス

<ゴルフクラブ>

・Club de Golf La Dehesa

Camino Club de Golf 2501, Lo Barnechea

TEL:02-355-9700

FAX:02-355-9739

URL: <http://www.golfladehesa.cl>

他のゴルフ場の情報はチリゴルフ協会のホームページ (<http://www.chilegolf.cl>) で見ることができる。

28. 劇場

・Teatro Municipal de Santiago

Agustinas 794, Santiago

TEL: 800-471-000

URL: <http://www.municipal.cl/>

29. 語学学習施設

・Natalis Language Centre

Vicuña Mackenna 6, Piso 7, Providencia

TEL:02-222-8721

FAX:02-222-8685

URL: <http://www.natalislang.cl/>

・Berlitz Language Center

Padre Mariano 305, Providencia

TEL:02-235-2341

URL: <http://www.berlitz.cl/>

・日智文化協会

Seminario 15, Providencia

TEL:02-209-8613

URL: <http://www.iapones.cl/>

30.旅行

<ワイナリー>

・Vina Concha y Toro

Virginia Subercaseaux 210, Pirque

TEL:代表 02-476-5000、訪問予約 02-476-5269

FAX:02-853-1063

URL:<http://www.conchavtoro.com>

事前に予約する必要あり。昼食、ガイド付き、有料。
